

2023年3月期 第2四半期 決算報告

2022年11月14日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス財務企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2023年3月期第2四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次

● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.14
● グループEEV	P.23
● 参考データ	P.29

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2022/9末	144.81円	142.32円	94.17円
2022/6末	136.68円	142.67円	93.90円
2022/3末	122.39円	136.70円	92.00円
2021/12末	115.02円	130.51円	83.42円
2021/9末	111.92円	129.86円	80.46円
2021/6末	110.58円	131.58円	83.12円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクトティブ	[米画] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業(アセットマネジメント事業)				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(持株権) 30%(経済持分)	4-3月

2Q連結業績

国内の新型コロナ感染拡大に伴う入院給付金支払いの増加や海外金利上昇の影響等により減益

利益	グループ修正利益	1,279億円	▶ 前年同期比△18% DLは入院給付金等の支払い増加を順ぎの増加や新規出再費用の減少等が相殺 海外金利上昇に伴う、米PLCの営業外損益の大幅な悪化やDFLの責任準備金増し等が影響
	連結純利益	1,082億円	
新契約	グループ新契約ANP	1,855億円	▶ 同△39% グループ修正利益の減益に加えて、DFLのMVA関連損益に含まれる金利変動損益の悪化が影響 ▶ 同+14% ※為替影響除く DL・NFLが減少した一方、海外金利上昇等によりDFLが好調、海外は米PLC・DLVN(ベトナム)で増加
	グループ新契約価値	685億円	
経済価値	グループEEV	7兆838億円	▶ 同△12% ※為替影響除く 販売好調を背景にDFL・米PLCが大幅に増加したが、DL・NFLが低位に留まり、前年同期を下回る ▶ 前期末比△3% ※調整後 国内金利上昇によるプラス効果を海外金利上昇や株式市場の下落の影響等が上回る

2023/3期予想

2Q実績等を踏まえ、通期利益予想および新契約価値予想を引き下げ 1株あたり配当金は期初予想を据置き

業績予想	グループ修正利益	2,400億円程度	▶ DLでの入院給付金支払いやヘッジコストの増加、米PLCの営業外損益の悪化等を反映 ▶ DFL・米PLCは増加見通しも、DL商品の販売伸び悩み等が影響
	グループ新契約価値	1,350億円程度	
株主還元	1株あたり配当金	86円(予想)	▶ 1株あたり配当金は、期初予想86円(前期比+3円)を据置き ▶ 当期業績に基づく子会社からHDへの送金額(レミタンス)は、見込額(約2,400億円)を確保する想定

トピック

アイペットホールディングスの完全子会社化に向けた公開買付け(TOB)の実施

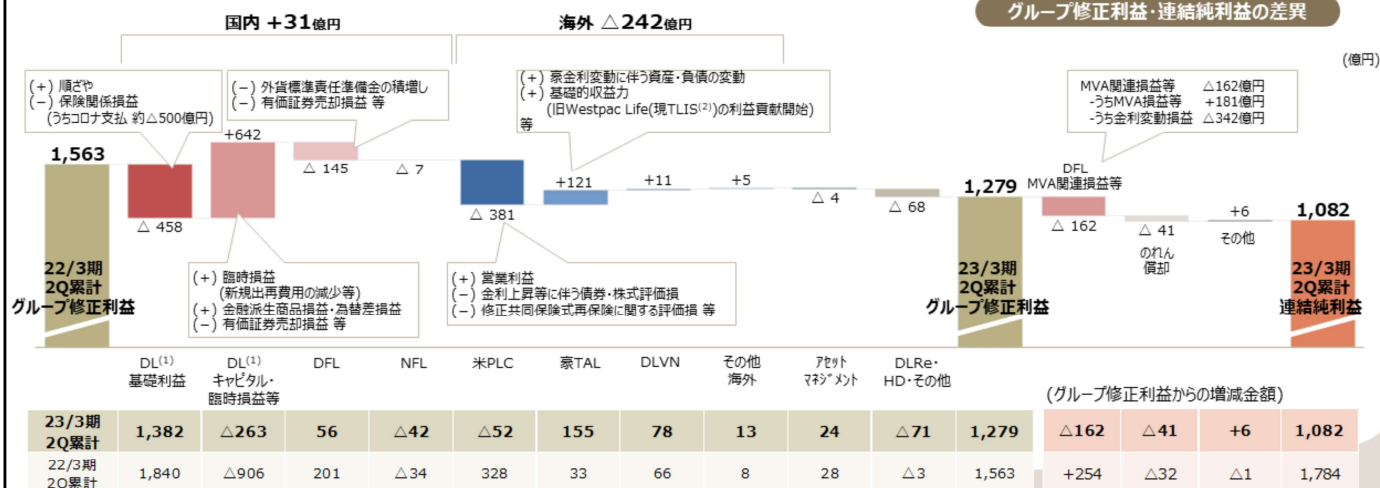
- ▶ 国内で希少な高成長市場における強固なプレゼンスを獲得するとともに、事業ポートフォリオの分散やリスクプロファイルの改善、お客さま接点の拡大を見込む

- 本日のポイントを3点にまとめました。
- まず、連結業績です。第1四半期に引き続き、国内の新型コロナ感染拡大や海外金利上昇の影響等により減益となりました。
- 第一生命は、新型コロナに関連した入院給付金等が増加し、保険関係損益が悪化しましたが、順ぎの増加や、新規出再費用の減少等が相殺し、前年同期比では増益を確保しました。一方、第一フロンティア生命、米国プロテクトイブにおいて、海外金利上昇の影響が下押し圧力として継続しました。連結純利益は、第一フロンティア生命におけるMVA関連損益がマイナスに寄与しました。
- 新契約業績についてです。第一生命・ネオファースト生命が、引き続き低調となりましたが、海外金利上昇の中で、第一生命チャネルでの販売拡大もあり、第一フロンティア生命の販売が大幅に増加しました。海外では米プロテクトイブや第一生命ベトナムが堅調な結果となりました。新契約価値では、第一生命・ネオファースト生命の販売が低位に留まったことが影響し、前年同期を下回りました。
- グループEEVは、国内金利上昇によるプラス効果を海外金利上昇や株式市場の下落の影響等が上回り、前期末から減少しました。
- これらの実績を踏まえ、通期利益予想および、新契約価値予想の見直しを行いました。第一生命での入院保険金等のお支払いや、ヘッジコストが当初想定を上回ったこと、米プロテクトイブの利益低下等から、グループ修正利益は2,400億円程度を見込みます。グループ新契約価値は、1,350億円程度に下方修正しました。
- なお、1株あたり配当金は、期初予想の86円から変更はありません。グループ各社との協議を踏まえ、現時点においても、当期業績に基づく子会社から持株会社への送金額(レミタンス)は2,400億円を確保することが可能と想定しています。
- 最後に、11月7日にペット保険大手のアイペットホールディングスに対する、完全子会社化に向けた公開買付けを公表しました。本件については、後程改めてご説明いたします。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 利益：グループ修正利益・連結純利益

- ▶ グループ修正利益は、DLが新型コロナ感染拡大に伴う入院給付金等の支払い増加により保険関係損益が悪化する中、円安等による利配収入の増加やキャピタル損益の改善、新規出再費用の減少等により増益を確保したものの、DFLでの海外金利上昇に伴う外貨標準責任準備金の積増しや米PLCでの営業外損益(評価性)の悪化等を主に減益(前年同期比△18%)
- ▶ 連結純利益は、DFLにおいてMVA関連損益に含まれる金利変動損益(時価評価資産(債券)の評価損益)の悪化が影響し減益(同△39%)

グループ修正利益・前年同期比変動要因



(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含まれます
(2) 正式名称：TAL Life Insurance Services Limited

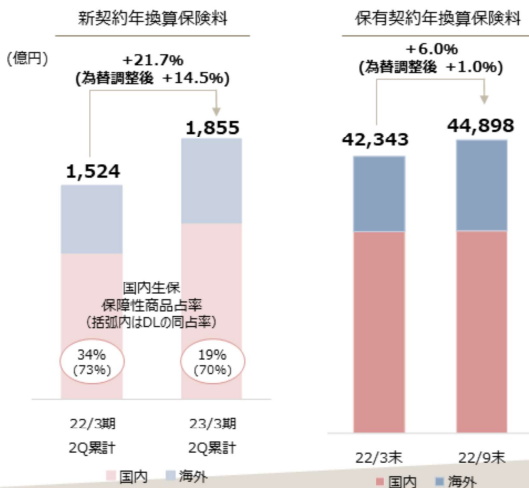
3

- 利益面について説明します。
- 第一生命の基礎利益は、新型コロナに関連した入院給付金等の増加により減少しました。キャピタル・臨時損益等では、国内金利の上昇や円安による金融派生商品損益やヘッジコストを除く為替差損益の改善が寄与し、修正利益は増加しました。
- 第一フロンティア生命では、第1四半期に引き続き、急激な海外金利の上昇の中で、販売好調に伴う外貨標準責任準備金の積増し負担が生じました。
- 米プロテクトは、新型コロナに関連した保険金等の発生が期初想定を下回り、営業損益は大きく改善したものの、営業外損益における金利上昇や株式市場の下落に伴う評価性損失が大きく影響しました。
- 豪TALは、基礎的収益力の改善に加え、前年同期に発生した豪金利のフラットニングを主因とする資産・負債の時価変動損失からの解消により、増益となりました。
- 最後に連結純利益は、主に第一フロンティア生命におけるMVA関連損益の悪化が影響しました。MVA損益を相殺することを企図し保有する金銭の信託等の時価評価による変動損益の悪化が主な要因です。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 新契約：新契約・保有契約年換算保険料

- 国内新契約は、海外金利上昇で外貨建商品の訴求力が高まったDFLが、DLチャンネルによる販売増加も後押しし大きく進展、全体で前年同期比+22%増加
DLは1Qに続いて前年同期の医療保険新商品の販売拡大からの反動のほか、DFL商品への営業活動のシフトが影響、NFLも他社の商品改定等の影響から弱含み
(なお、DFL・NFL商品の販売を含めたDLチャンネル販売全体は、前年同期比+4%増加)
- 海外は、円安により前年同期比+23%増加し、為替影響除きでは、豪TALの個人向けが低調に推移した一方、米PLC・DLVNはプラスを確保し、+0.6%増加
8/1にクロージングを完了した旧Westpac Life について、当期より豪TALに連結し、保有契約が増加

新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



(億円)	新契約年換算保険料				保有契約年換算保険料		
	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年 同期比	20/3期 同期比	22/3末	22/9末	前期末比
国内3社計	1,040	1,258	+20.9%	+11.5%	30,901	30,999	+0.3% (△2.0%)
DL	390	252	△35.3%	△40.8%	20,527	20,296	△1.1%
うち第三分野	262	163	△37.9%	△38.7%	7,088	7,077	△0.1%
DFL	577	946	+63.8%	+44.0%	8,983	9,377	+4.4%
うちDLチャンネル販売	96	251	+162.0%	+63.1%	1,390	1,325	△4.7%
NFL	71	58	△18.3%	+33.9%	1,390	1,325	△4.7%
うちDLチャンネル販売	35	37	+5.6%	+113.1%			
海外5社計	483	597	+23.5% (+0.6%)	+62.8% (+27.8%)	11,441	13,899	+21.5% (+8.9%)
PLC	275	354	+28.7%	+92.9%	5,979	7,085	+18.5%
TAL	53	49	△7.3%	△43.2%	4,497	5,599	+24.5%
DLVN	154	190	+23.4%	+98.9%	961	1,208	+25.7%
DLKH/DLMM	0.6	2.8	+370.2%	+4,984.3%	2.9	5.7	+92.4%
第一生命グループ計	1,524	1,855	+21.7% (+14.5%)	+24.1% (+15.5%)	42,343	44,898	+6.0% (+1.0%)

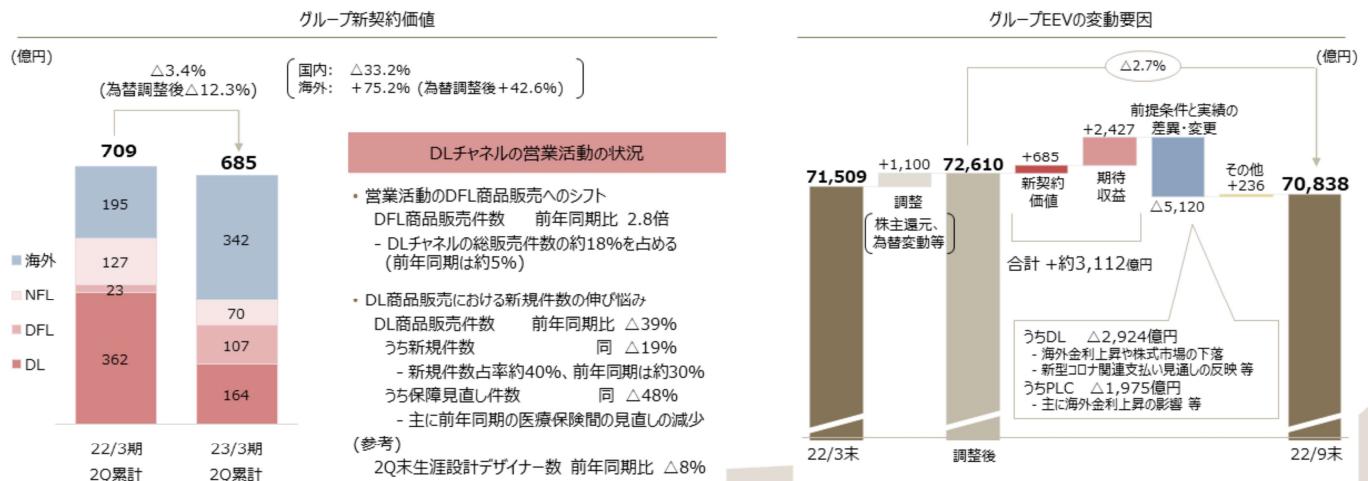
増減率の下段()は為替変動の影響を除く変化率

- 新契約業績について説明します。
- 国内新契約は、海外金利の上昇で外貨建商品の訴求力が高まった第一フロンティア生命が牽引し、前年同期を大幅に上回りました。
- 一方、第一生命単体では、前年同期の医療保険新商品の販売拡大からの反動のほか、営業活動が第一フロンティア商品にシフトした状況が続いたことに加え、7月からのコンサルティング手法および商品体系の一体改革による取組みの浸透に時間を要しており、新契約が低位に留まりました。
- ネオファースト生命では、引き続き、競合他社の商品改定等の影響により、主力の医療保険分野において、ショップ代理店を中心に販売の弱含みの状況が続いています。9月よりがん保険新商品を投入し、1件あたりの保険料は医療と比較すると小さいものの、販売件数は計画を上回るペースで進捗しています。
- 海外では、豪TALの個人保険販売が軟調となったものの、米プロテクトティブで金利上昇を追い風に経営者向け保険の販売が好調に推移しました。また、第一生命ベトナムは、銀行オルタナティブチャンネルが引き続き好調を維持しており、海外全体では、為替影響除きでも前年同期を上回る水準となりました。
- なお、豪TALにおいて、前期に公表した旧Westpac Lifeの買収が8月1日に完了し、当期より連結を開始しています。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – グループ新契約価値・グループEEVの変動要因

- ▶ グループ新契約価値は、DFL商品や海外PLCの販売好調があったものの、DL商品・NFLの販売伸び悩みが影響し、前年同期比△12%減少(為替影響除く)
- ▶ DLは、営業活動のDFL商品へのシフトや、DL商品販売における新規を中心とした販売件数の低下等が影響
- ▶ グループEEVは、国内金利上昇によるプラス効果を海外金利上昇や株式市場の下落の影響等が上回り、前期末比△1%(調整後△2.7%)の7兆838億円

グループ新契約価値・グループEEVの変動要因



- グループ新契約価値・グループEEVについて説明します。
- 新契約価値は、主に前のページでの述べた新契約年換算保険料の状況を反映し、第一フロンティア生命や米プロテクティブの貢献がありましたが、第一生命・ネオファーストが想定を下回って推移する結果となっています。
- 第一生命の生涯設計デザイナーの営業活動の状況をまとめています。第一フロンティア生命の商品販売件数が全体の約18%を占める状況となっており、加えて、第一生命商品の新規件数が伸び悩んでいる影響が大きいです。
- 第一フロンティア生命では、海外金利上昇を背景とした販売量の大幅な増加に加え、運用手法の多様化等によるリターン上昇が新契約価値の伸びに貢献しています。
- 海外は米プロテクティブにおいて、経営者保険の販売拡大や金利上昇が寄与し、大幅な増加となりました。
- グループEEVは、国内金利の上昇が第一生命にプラス効果をもたらしたものの、海外金利の大幅な上昇や国内外の株式市場の下落等の影響が上回り、前期末から△1%減少、為替影響等を除いた調整後では△2.7%となりました。
- 次のページをご覧ください。

グループ連結主要業績および2023年3月期業績予想

- ▶ DFLの保険料等収入増加や為替差益等の発生等を主因に経常収益は上方修正、2Q実績等を踏まえ、通期利益予想および新契約価値予想を引き下げ
- ▶ 1株あたり配当金は、期初予想86円(前期比+3円)を据置き(当期業績に基づく子会社からHDへの送金額(レミタンス)は、見込額(約2,400億円)を確保する想定)

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	23/3期通期予想 期初予想(5月)	今回	業績予想 増減額	(参考)22/3期 通期実績
連結経常収益	37,657	56,150	+ 18,492	+ 49%	58%	76,120	96,500	+ 20,380	82,097
第一生命	21,435	20,686	△ 748	△ 3%	55%	35,630	37,310	+ 1,680	44,508
第一フロンティア生命	8,710	25,155	+ 16,444	+ 189%	69%	21,050	36,560	+ 15,510	22,146
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	7,253	8,861	+ 1,608	+ 22%	60%	9,750	14,710	+ 4,960	13,400
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	3,279	4,238	+ 958	+ 29%	55%	7,680	7,680	-	6,404
連結経常利益	2,862	2,192	△ 669	△ 23%	51%	5,120	4,300	△ 820	5,908
第一生命	1,799	2,212	+ 413	+ 23%	59%	3,830	3,730	△ 100	3,789
第一フロンティア生命	565	△ 114	△ 679	-	△ 105%	590	100	△ 490	1,231
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	362	△ 49	△ 411	-	△ 38%	340	130	△ 210	578
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	63	201	+ 138	+ 219%	78%	260	260	-	163
連結純利益⁽²⁾	1,784	1,082	△ 702	△ 39%	49%	2,850	2,190	△ 660	4,093
第一生命	934	1,119	+ 184	+ 20%	62%	1,870	1,790	△ 80	1,997
第一フロンティア生命	456	△ 106	△ 562	-	△ 141%	450	70	△ 380	1,386
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	297	△ 38	△ 335	-	△ 35%	280	100	△ 180	277
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	37	158	+ 120	+ 320%	88%	180	180	-	126
グループ修正利益	1,563	1,279	△ 283	△ 18%	53%	2,700程度	2,400程度	△ 300	2,961
グループ新契約価値	709	685	△ 23	△ 3%	51%	1,540程度	1,350程度	△ 190	1,266
1株あたり配当金(円)						86	86	-	83
(参考)基礎利益	2,615	2,024	△ 590	△ 23%	55%	4,200程度	3,700程度	△ 500	5,501
第一生命	1,840	1,382	△ 458	△ 25%	58%	3,000程度	2,400程度	△ 600	4,076

(1) 米PLCおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています

(2) 親会社株主に帰属する当期純利益です

：業績予想の修正箇所(2022年11月14日)

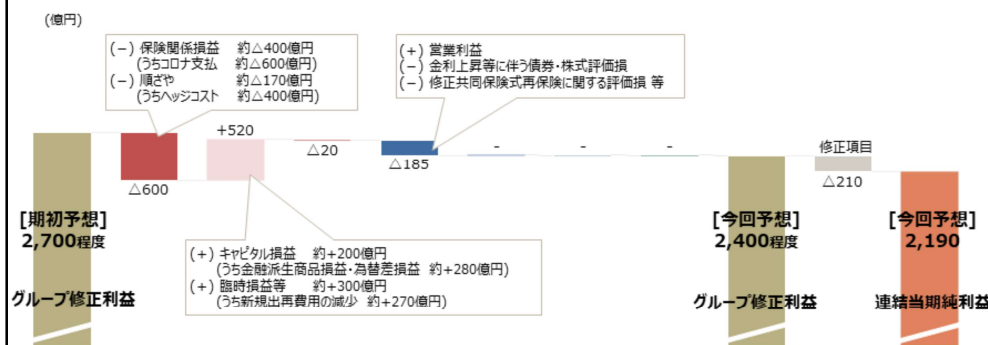
6

- 経常項目を含めた第2四半期累計の進捗率および通期予想の修正について記載しています。
- 連結経常収益は、第一フロンティア生命における新契約販売が好調に推移したことや、円安にともなう為替差益の発生を主因に上方修正となりましたが、為替差益は責任準備金の繰入れと相殺されるため、経常利益への影響はありません。
- グループ修正利益や新契約価値の修正については、続くページでお示します。
- 次のページをご覧ください。

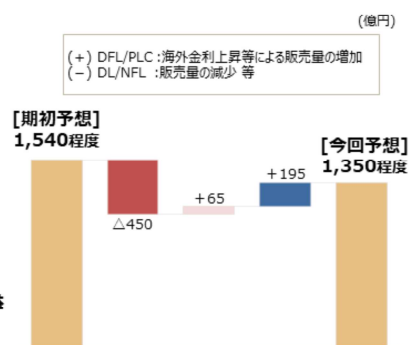
2023年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想 – 変動要因(期初予想対比)

- ▶ グループ修正利益予想は、国内における7月以降の新型コロナ感染拡大、国内外の金融市場動向等を踏まえ、DLにおける入院給付金等の支払い増加やヘッジコスト上昇、米PLCにおける営業外損益(評価性)の悪化継続等を織り込み、2,400億円程度を見込む
連結純利益予想は、DFLにおいてMVA関連損益に含まれる金利変動損益(時価評価資産(債券)の評価損益)の悪化に伴い、2,190億円を見込む
- ▶ グループ新契約価値は、DFL・PLCで増加見通しも、DL商品の販売伸び悩みを主因に、1,350億円程度を見込む

グループ修正利益予想・期初予想比変動要因



グループ新契約価値予想・期初予想比変動要因



	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ キャピタル・ 臨時損益等	DFL/NFL	米PLC	豪TAL	その他 海外生保	アセットマネジメント その他	修正項目	修正金額	修正後の予想
今回予想	2,400 程度	△610	115	155	175	160	15	2,400 程度	△210	2,190
期初予想 (5月)	3,000 程度	△1,130	135	340	175	160	15	2,700 程度	+150	2,850

(グループ修正利益からの増減金額)

今回予想	410	350	585	1,350 程度
期初予想 (5月)	860	285	390	1,540 程度

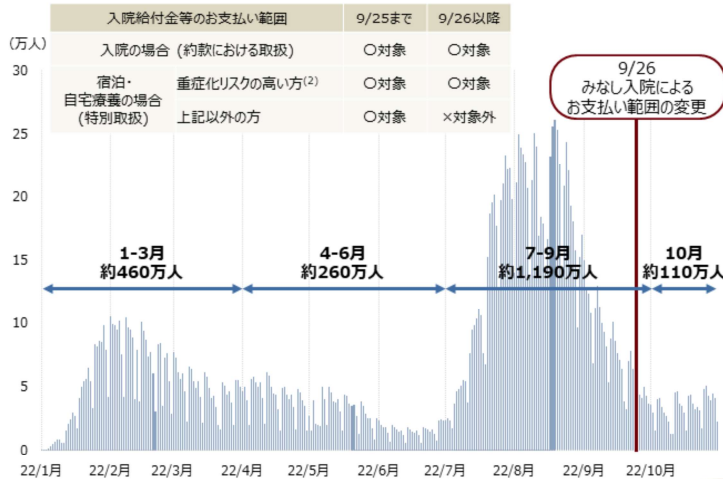
(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています
(2) 期初予想・今回予想ともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

- 利益予想・新契約価値予想の修正について、期初予想からの変化をお示ししています。
- 第一生命の修正利益は、第一生命における新型コロナ感染拡大に伴う入院給付金等の支払い増加やヘッジコストの上昇を反映した一方、金融派生商品損益等の改善や新規出再費用の減少を織り込み、期初予想から80億円程度減少する見込みです。また、海外金利を中心とした現在の金融市場環境を踏まえ、米プロテクティブにおいて、引き続き評価性の営業外損益の悪化が続くこと想定し、利益見通しを引き下げました。
- グループ新契約価値は、第2四半期までの各社の販売動向を踏まえて見通しを精査した結果、190億円程度減少する見通しです。
- 次のページをご覧ください。

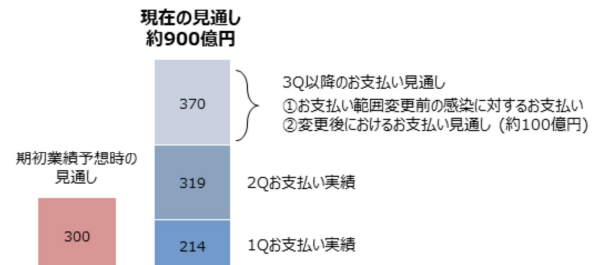
新型コロナ感染に対する入院給付金等のお支払い状況（第一生命）

- ▶ 9月26日より、新型コロナ感染における「みなし入院」による入院給付金等のお支払い範囲を変更
- ▶ DLは、期初業績予想において入院給付金等のお支払いを約300億円見込んでいたが、7-9月を中心とした感染拡大等を踏まえ、現時点では約900億円(+600億円)を見込み、今回の業績予想に反映

国内新規感染者数の推移⁽¹⁾



(DL)入院給付金等のお支払い実績・見通し



国内における新型コロナに関連したお支払いの状況⁽³⁾

		死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
		件数	金額	件数	金額
第一生命	2022年	977件	約41億円	449,544件	約533億円
(参考)国内グループ会社	4月-9月	1,282件	約70億円	490,497件	約571億円

(1) 厚生労働省データより当社作成。9/26以降のお支払い対象外となる範囲を含む (2) 65歳以上の方、入院を要する方、重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により医療投与が必要なる方、妊婦されている方

(3) 国内グループ3社(第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命)合計。2022年9月30日時点での判明分

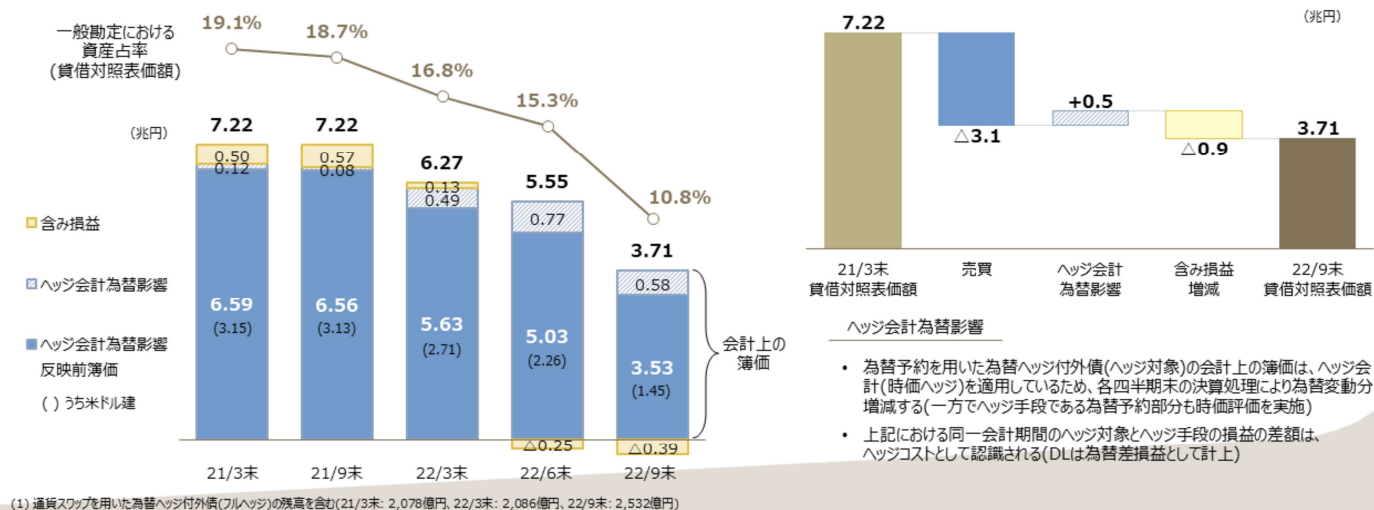
- 新型コロナ感染に対する、第一生命における入院給付金のお支払い状況についてまとめました。
- 現時点において、通期で約900億円の入院給付金等のお支払いを想定しており、第3四半期以降では、約370億円の追加でのお支払いが発生することを見込んでいます。
- 次のページをご覧ください。

第一生命の為替ヘッジ付外債建債券運用の状況① (残高増減)

- ▶ 短期金利を中心に海外金利が急速に上昇する中、DLではリスク・リターンの観点から為替ヘッジ付外債残高の大幅な削減を実施
- ▶ 為替ヘッジ付外債に対する資産運用プロセスを見直し、アセットアロケーション方法やリスク管理の厳格化を実施
- ▶ 今後の金利見通しや流動性等を踏まえて、引き続き、残高は削減方向でコントロールしていく方針

為替ヘッジ付外債残高詳細(貸借対照表価額)⁽¹⁾

21/3末~22/9末 増減要因



- 第一生命のヘッジ外債運用について状況を補足します。
- 海外金利が急速に上昇する中で、第一生命では、リスク・リターンの観点からヘッジ外債の大幅な削減を実施しました。
- ヘッジ外債は、円金利資産の代替として投資を行ってきましたが、急速な海外金利のボラティリティの上昇等から、今年度はヘッジコストの上昇や含み損が発生しています。
- これらの状況から海外金利変動リスクを改めて認識し、アセットアロケーション方法やリスク管理の厳格化を図って対応しています。
- 今後のヘッジ外債の運用残高は、金利見通しや流動性等を踏まえつつ、引き続き、削減方向でコントロールしていく方針です。
- 次のページをご覧ください。

第一生命の為替ヘッジ付外債建債券運用の状況② (損益状況・ヘッジコスト)

- ▶ 2Q累計の為替ヘッジ付外債の利配収入は、大規模な残高減少の一方、円安効果が寄与し、前年同期比約△3%減少に留まる
- ▶ 為替に係るヘッジコストは、為替予約のロール到達が少なく、2Q累計では比較的低位に留まったものの、3Q以降に相当額のロールが到来する予定
足元で海外の短期金利は6末時点の想定を上回っているが、残高の大幅な削減により、当期年間のヘッジコストは6末時点想定から大きな変動はない見込み

為替ヘッジ付外債 損益状況

(億円)	22/3期2Q累計	23/3期2Q累計	
	為替ヘッジ付 外債	為替ヘッジ付 外債	(参考) オープン外債 ⁽¹⁾
利息・配当金等収入	842	815	246
		(計画比円安効果: 合計約+100)	
為替に係るヘッジコスト	△ 135	△ 232	-
有価証券売却損益	△ 335	△ 1,501	615
貸借対照表価額	72,289	37,173	14,276
会計上の簿価	66,531	41,149	13,097
含み損益	5,758	△ 3,975	1,178
(参考) ヘッジ会計が替影響 反映前簿価	65,698	35,325	

23/3期 ヘッジコストの想定

- ・ ヘッジ目的の為替予約は、3か月～6ヶ月でのロールを前提
(通貨やロール規模、タイミング等により異なる)
- ・ 為替ヘッジ付外債残高は、2Q以降も年度末にかけて、追加の削減方向で想定

各国の 短期金利の想定	3末時点想定 (期初計画)	6末時点想定 (1Q末時点)	9末時点想定 (直近)
米国(米ドル)	2.6%	3.5%	4.5-5.5%
欧州(ユーロ)	△0.0%	0.5%	2.5-3.0%
為替ヘッジ付外債 年間削減想定	約△6,000億円	約△1兆円強	上期△2.1兆円削減に加え、 下期も削減方向を想定
年間ヘッジコスト想定	約500億円	約900億円	約900億円 (6末時点から変更なし)

(1) 外国公社債投資信託を含む

10

- こちらは、ヘッジ外債の損益状況について補足しています。
- 大規模な残高削減を行っていますが、第2四半期におけるヘッジ外債からの利配収入は、円安効果が寄与し、前年同期比約△3%の減少に留まっています。
- 併せて残高削減に伴う売却損を約△1,500億円計上していますが、円安により含み益が生じたオープン外債の売却を通じた売却益も計上されています。
- ヘッジコストは、保有する為替予約の状況から、第2四半期までは比較的低位にありますが、ロールを迎える第3四半期以降に大幅な上昇が見込まれています。
- しかしながら、大幅な残高削減を既に実施した結果、各国の短期金利の想定が段階的に引き上がっている状況にありますが、年間のヘッジコストは6末時点で想定した約900億円程度から大きな変動はない見込みです。
- 次のページをご覧ください。

アイペットホールディングスの完全子会社化に向けたTOBの実施



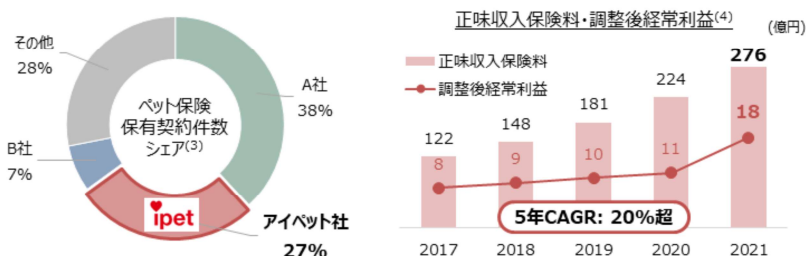
- ▶ 2019年より業務提携関係にあった、国内ペット保険の大手アイペットホールディングス(以下アイペット社)の子会社化に向けた公開買付を実施
- ▶ 国内で希少な高成長市場における強固なプレゼンスを獲得するとともに、事業ポートフォリオの分散やリスクプロファイルの改善、お客さま接点の拡大を見込む

公開買付け(TOB)の概要

対象会社名	アイペットホールディングス(株) (東証グロース市場上場)
従業員数 ⁽¹⁾	533名
経常収益 / 調整後当期純利益 ⁽²⁾	286億円 / 11億円
総資産 / 純資産 ⁽¹⁾	223億円 / 50億円
買付期間	2022年11月8日～12月20日
買付予定株数	全普通株式および新株予約権 (下限: 所有割合の66.67%)
買付価格(普通株式)	3,550円
プレミアム	11月4日終値に対し+47.9%
決済日	2022年12月27日
買付総額	390億円程度を想定 (全株式等を取得した場合)

- ・ 対象会社の株式55.21%を保有する(株)ドリームインキュベータとの間で、本公開買付けに応募する旨を合意しています。
- ・ 全株式等を取得できなかった場合、本公開買付けの成立後に、スクイズアウト手続きの実施を予定しています。

アイペット社の概要



戦略的意義

- ✓ 国内で希少な高成長の保障性市場における強固なプレゼンスの獲得
- ✓ 当社事業ポートフォリオの分散やリスクプロファイルの改善 (保険リスクのテイク)
- ✓ 既存の提携関係から深化した、アイペット社商品を活用した当社お客さまとの接点拡大

当社財務への影響

利益見通し ・キャッシュ貢献	2026年度純利益見通し: 約20億円 累積損失解消後のキャッシュ貢献を見込む
グループESRへの影響 ⁽⁵⁾	約△1.2%pt低下

(1) 2022年3月時点(連結) (2) 2021年度実績、当期純利益は、未経過保険料方式とし、異常危険準備金の影響を除外した調整後(Non-GAAP) (3) 2021年12月、アイペット社ディスクロージャー資料 (4) 2019年度以前はアイペット損害保険(株)の数値 (5) 概算値

11

- 最後にアイペットホールディングスのTOBについてです。
- ペット保険市場は、国内でも希少な高成長市場であり、アイペット社は業界第2位の強固な事業基盤の下、そのプレゼンスを高めている企業です。
- 新型コロナ禍以降、国内の生命保険の事業環境が大きく変化する中で、当社グループは、4つの体験価値をお客さまへお届けすることを通じたビジネスモデルの変革に取り組んでいます。
- 当社とアイペット社は2019年より業務提携関係にあり、第一生命の営業職員チャネルを通じて同社のペット保険を販売してきたほか、ペット保険への加入を契機に第一生命の生命保険への加入に繋がるケースも実績として増えています。
- 今回の完全子会社化を通じて、アイペット社の高い利益成長を享受するとともに、第一生命のお客さまへの新たな価値提供を強化していきます。また、財務面では、事業ポートフォリオの分散やリスクプロファイルの改善を見込んでいます。
- なお、買付価格は約48%のプレミアムを加算していますが、過去の他の完全子会社化事例の約45%と比較して過度に大きな水準ではないと考えています。
- これまでの当社グループにおけるM&A案件同様に、厳格な投資規律として、同社の事業リスクを勘案した資本コストを上回るリターンを確保可能であることを確認した上で判断を行っており、IRRは、特段の追加的なシナジー効果を織り込まない前提で、概ね10%の水準を想定しています。
- 次のページをご覧ください。

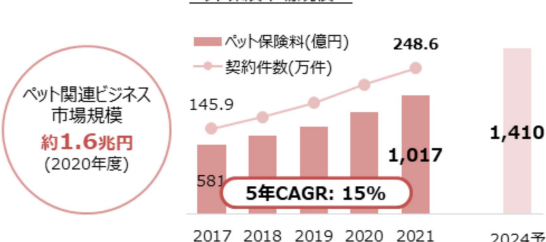
ペット関連市場の概況とアイペット社の特徴・強み

▶ ペット保険は国内における希少な成長市場であることに加え、アイペット社は最大手の一角として競争優位性は高く、業界全体・同業他社を上回る成長を実現

ペット保険市場の概況

- 国内ペット保険市場は契約件数の増加とともに成長性は高い
- 保険加入率は依然低く、今後の伸びしろは大きい

ペット保険市場規模⁽¹⁾



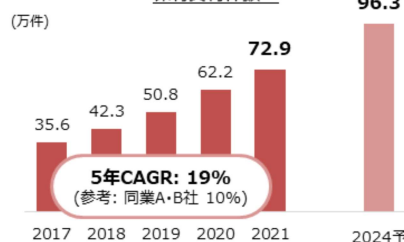
ペット保険加入率(諸外国とのギャップ)⁽¹⁾



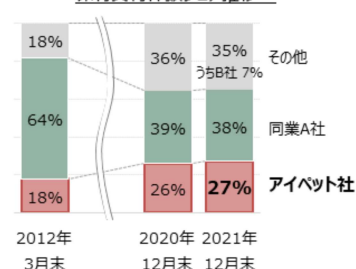
アイペット社の特徴・強み

- アイペット社は業界全体の伸びを上回る成長を実現して市場シェアを拡大
- ペットショップチャネル販売からの若い優良な被保険体が多く、同業他社比で低い損害率を維持

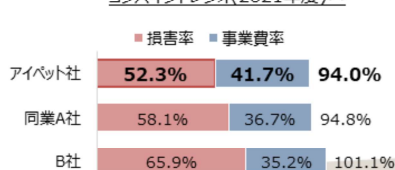
保有契約件数⁽¹⁾



保有契約件数シェア推移⁽¹⁾



コンパインドレシオ(2021年度)⁽²⁾



事業上の競争優位性⁽³⁾

- ✓ 有力ショップ網とWeb等へのチャネル分散(新契約件数シェア: ショップ約7割、Web約2割)
- ✓ 業界トップクラスの契約継続率(約90%)
- ✓ 窓口精算可能な幅広い病院網(約5,500施設)

(1) アイペット社ディスクロージャー資料 (2) 各社公表数値(既経過ベース) (3) 各数値は2021年度

12

- ペット関連市場とアイペット社についてまとめています。
- ペット保険市場は2桁成長で拡大を続けており、日本ではまだ認知度が低く、保険加入率には上昇余地があると考えています。
- そのような中、アイペット社は、市場全体や競合大手を上回る成長のトラックレコードを有しており、上位のA社とともにお客さまが病院窓口で保険金等の手続きが可能な病院施設数で高いシェアを確保し、大きな参入障壁を築いています。
- また、有力ショップを中心とした販売ネットワークから、健康で若いペットの加入が多いなど、良好な損害率を維持する点でも一定の競争優位性を持っていることが特徴です。
- 当社グループは、アイペット社に対し、財務的・人的な経営資源をサポートし、同社の成長を後押ししていきます。
- 次のページをご覧ください。

[参考] 買付要項(一部抜粋)と想定スケジュール

▶ 応募が発行済株式全体の2/3に達した場合、TOB成立となり12月末にアイペット社を子会社化の上、残る株式を少数株主から取得し完全子会社化する予定

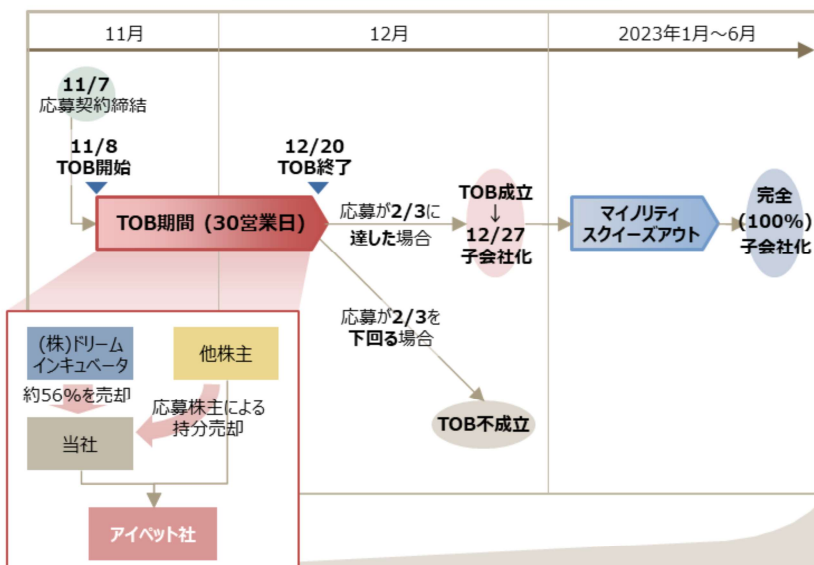
買付要項(一部抜粋)

買付目的	対象会社の完全子会社化
株券の種類・買付価格	普通株式：3,550円 第1回新株予約権(い)：6,460円 第1回新株予約権(ろ)：6,460円
買付期間	2022年11月8日～12月20日
買付予定株数	買付予定数：10,990,381株 買付予定数の上限：なし 買付予定数の下限：7,326,900株
所有割合	買付前：0%、買付後：100%
買付資金	自己資金
決済の開始日	2022年12月27日

対象会社の大株主の状況

名称	所有株式数(千株)	所有株式数割合 ⁽¹⁾
1 株式会社ドリームインキュベータ	6,068	55.87%
2 GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	775	7.13%
3 GOLDMAN SACHS & CO.REG	683	6.28%
4 双日株式会社	468	4.30%
5 YCP HOLDINGS (GLOBAL) LIMITED	468	4.30%

想定スケジュール



(1) 発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合(2022年3月末時点)

13

- 参考として、TOBの詳細や今後の想定スケジュールを掲載しています。
- 応募が2/3に達した場合にTOB成立となり、12月末にアイペット社を子会社化の上、残る株式を少数株主から取得し、2023年1月～6月での完全子会社化を計画しています。
- 私からの説明は以上です。

グループ各社の業績概要

【グループ各社の業績概要】

国内生命保険事業 - 第一生命



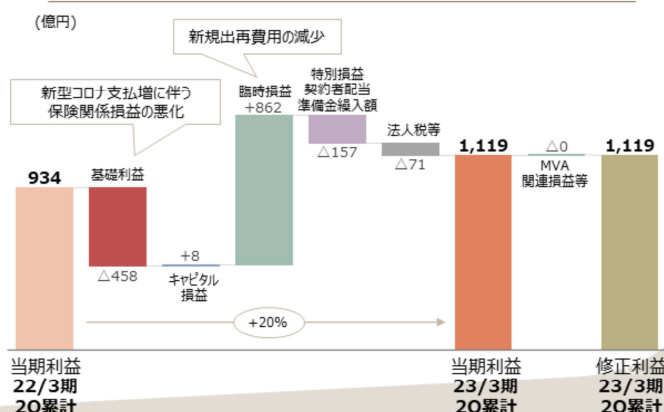
- ▶ 基礎利益は、円安等による外国証券からの利配収入の増加や出再等による予定利息の減少により順どやが増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入院給付金支払いの増加等により保険関係損益が大きく悪化したことから、前年同期比△25%減少の1,382億円
- ▶ 修正利益は、新規出再費用の減少等により臨時損益が前年同期比で大きく改善したこと等から、前年同期比+20%増加の1,119億円

単体業績

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	10,983	11,560	+ 576	+ 5%
基礎利益⁽¹⁾	1,840	1,382	△ 458	△ 25%
順どや	467	657	+ 189	+ 41%
うちヘッジコスト	△ 149	△ 262	△ 113	
保険関係損益	1,373	725	△ 648	△ 47%
キャピタル損益	1,102	1,111	+ 8	+ 1%
有価証券売却損益	917	584	△ 333	
投資解約損益	366	284	△ 82	
金融派生商品損益	△ 238	96	+ 335	
為替差損益 (除ヘッジコスト)	△ 30	140	+ 171	
有価証券評価損	△ 21	△ 61	△ 40	
臨時損益	△ 1,144	△ 282	+ 862	-
新規追加責任準備金繰入額	△ 346	△ 340	+ 6	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	-	-	-	
再保険関連収支	△ 798	49	+ 848	
経常利益(損失)	1,799	2,212	+ 413	+ 23%
特別損益	△ 132	△ 211	△ 78	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 90	△ 85	+ 5	
契約者配当準備金繰入額	△ 357	△ 435	△ 78	
法人税等合計	△ 374	△ 446	△ 71	
当期純利益(損失)	934	1,119	+ 184	+ 20%
(参考) 基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽²⁾	約+65	約+115	約+55	

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	934	1,119	+ 184	+ 20%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



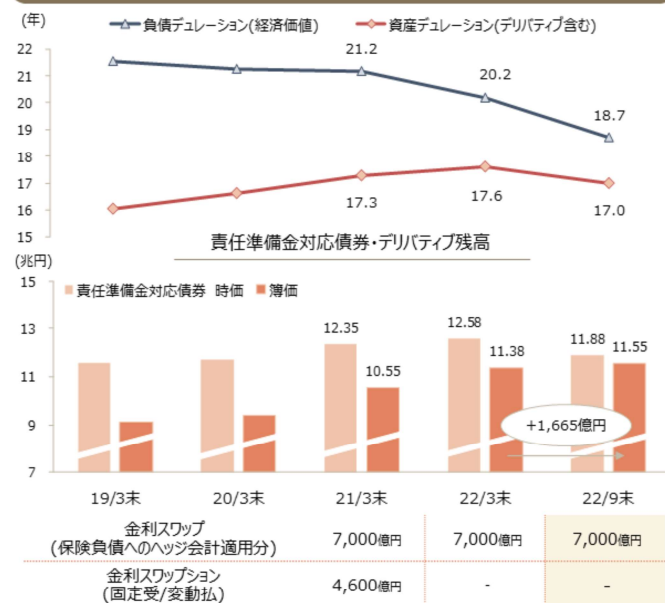
(1) 22/3期2Q・23/3期2Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載
(2) 再保険取引の影響額: 19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

[グループ各社の業績概要]

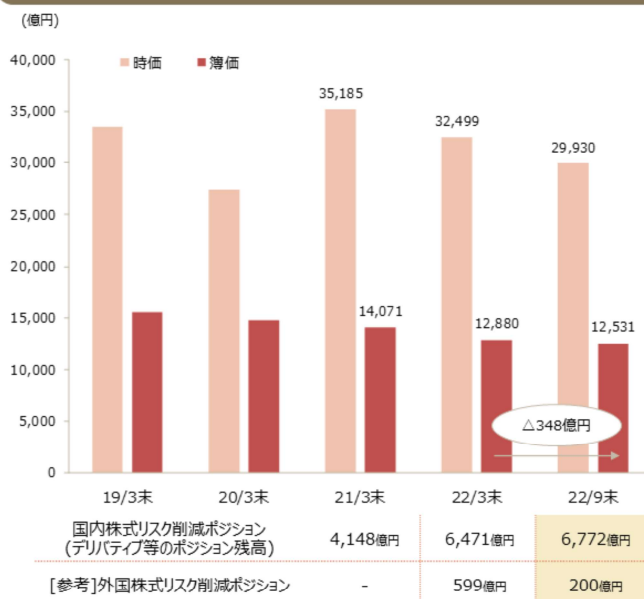
第一生命 - 市場関連リスク削減の取組状況



デュレーションと責任準備金対応債券の積増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾



(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建て固定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高
責任準備金対応債券とは、保険会社ごとに認められた区分で、一定の要件を満たせば簿価原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 22/9末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は746億円

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



- ▶ 基礎利益は、順ざやが増加したものの標準責任準備金増しに伴う保険関係損益の悪化等により、前年同期比△87%減少の28億円
- ▶ 当期利益は、円安によるターゲット到達一時益が発生したものの、MVA関連損益に含まれる金利変動損益の悪化等により、△106億円(前年同期は456億円) MVA関連損益等を除いた修正利益は、前年同期比△72%減少の56億円

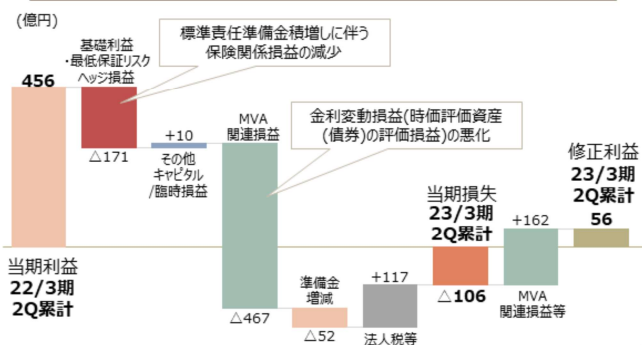
単体業績⁽¹⁾

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	6,279	12,288	+ 6,008	+ 96%
基礎利益⁽²⁾	213	28	△ 185	△ 87%
順ざや・保険関係損益等	233	87	△ 146	
最低保証リスクに係る損益(責任準備金増減等)	△ 19	△ 58	△ 38	
キャピタル損益	359	△ 346	△ 706	
最低保証リスクヘッジ損益	△ 7	6	+ 13	
MVA関連損益	244	△ 222	△ 467	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)	122	△ 129	△ 252	
臨時損益	△ 7	204	+ 211	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 7	△ 59	△ 52	
MVA関連損益(再保険関連)	-	-	-	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	0	263	+ 263	
経常利益(損失)	565	△ 114	△ 679	-
特別損益	△ 27	△ 28	△ 0	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 27	△ 28	△ 0	
法人税等合計	△ 81	36	+ 117	
当期純利益(損失)	456	△ 106	△ 562	-
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益	205	34	△ 171	
その他キャピタル・その他臨時損益	123	133	+ 10	
MVA関連損益	244	△ 222	△ 467	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 116	△ 51	+ 65	

(1) 22/3期1Qより各損益の内訳の項目名を修正の上、従来の事業利益を相替へ、一時的な有価証券売却損益等のキャピタル損益やその他臨時損益の再保険関連収支を区分する開示方法に変更しています
(2) 22/3期2Q・23/3期2Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	201	56	△ 145	△ 72%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – ネオファースト生命



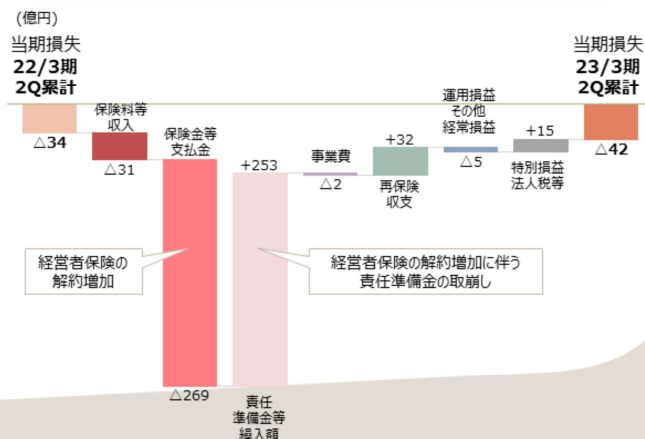
- ▶ 保険料等収入は、医療保険の保有契約が増加したものの、経営者保険の解約等により、前年同期比△5%減少
- ▶ 当期純損失は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入院給付金支払いの増加等により、△42億円(前年同期は△34億円)

単体業績

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	671	639	△ 31	△ 5%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 203	△ 472	△ 269	
保険金・年金・給付金	△ 42	△ 104	△ 62	
解約返戻金・その他返戻金	△ 160	△ 367	△ 207	
責任準備金等繰入額	△ 322	△ 68	+ 253	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 0	△ 0	+ 0	
事業費	△ 160	△ 163	△ 2	
再保険収支	△ 14	17	+ 32	
資産運用損益・その他経常損益	△ 5	△ 10	△ 5	
資産運用損益	2	2	+ 0	
その他経常損益	△ 7	△ 13	△ 5	
経常利益(損失)	△ 34	△ 57	△ 23	-
特別損益	△ 0	△ 0	+ 0	
法人税等合計	△ 0	14	+ 14	
当期純利益(損失)	△ 34	△ 42	△ 7	-
基礎利益 ⁽¹⁾	△ 33	△ 57	△ 23	-

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	△ 34	△ 42	△ 7	-

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 22/3期2Q・23/3期2Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 米プロテクティブ

(22/12期3Q(7-9月)決算は、現地11/14頃の公表を予定)



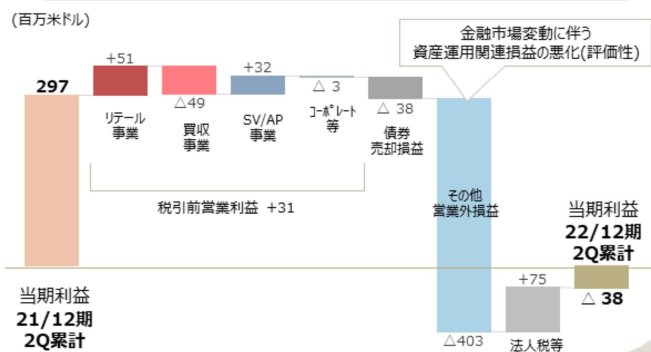
- ▶ 営業利益は、買収事業において前年同期の一過性要因の剥落があったものの、死亡保険金支払の減少によるリテール保険事業の利益回復や、資産運用収益の上振れに伴うステーブルバリュー事業の利益増加等が寄与し、前年同期比+11%増加の302百万米ドル
- ▶ 当期純損失は、主に金融市場変動影響による営業外損益の悪化(評価損等)から、△38百万米ドル(前年同期は297百万米ドル)

単体業績

(百万米ドル)	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	3,110	3,193	+ 83	+ 3%
税引前営業利益⁽¹⁾	271	302	+ 31	+ 11%
リテール保険&年金	20	71	+ 51	+ 247%
買収	211	162	△ 49	△ 23%
ステーブルバリュー(SV)	65	90	+ 25	+ 38%
アセットプロテクション(AP)	18	25	+ 7	+ 41%
コーポレート等	△ 44	△ 48	△ 3	-
営業外損益(償却調整後)	89	△ 352	△ 442	
債券売却損益	38	△ 0	△ 38	
債券評価損・株式評価損益等	7	△ 193	△ 201	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	92	14	△ 78	
修正共同保険式再保険に関する損益	△ 9	△ 177	△ 167	
デリバティブ損益(変動/定額年金等)	2	155	+ 152	
市場変動に伴う変動商品のDAC償却等の変動	17	△ 69	△ 87	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△ 60	△ 82	△ 21	
法人税等	△ 63	11	+ 75	
当期純利益(損失)	297	△ 38	△ 335	-
当期純利益 ※円換算後: 億円	328	△ 52	△ 381	-
決算為替レート(対円)	110.58	136.68	+ 26.10	+ 24%

(億円)	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	328	△ 52	△ 381	-

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 豪TAL



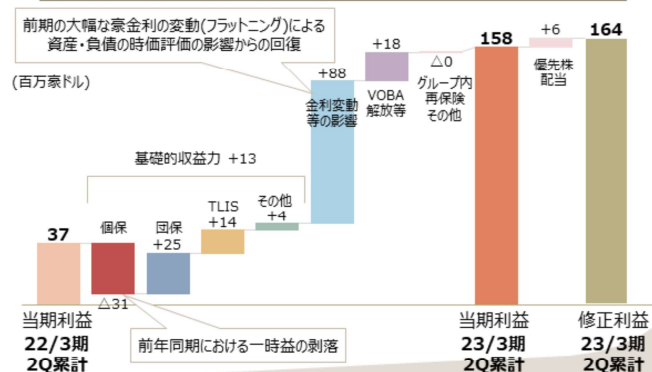
- ▶ 基礎的収益力は、前年同期におけるアステロン・ライフの保険負債評価のモデル変更に伴う一時益が剥落したものの、その影響を除いた個人保険・団体保険の損益が良好であったことや、8月に買収手続きを完了した旧Westpac Life(名称変更しTLIS⁽¹⁾)の利益貢献も寄与し、前年同期比 +9%増加の166百万豪ドル
- ▶ 当期純利益は、基礎的収益力の増益に加え、前期における大幅な豪金利の変動(フラットニング)による資産・負債の時価評価の悪影響から回復し、158百万豪ドル

単体業績

(百万豪ドル)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	3,112	3,481	+ 368	+ 12%
基礎的収益力(税引後)⁽²⁾	152	166	+ 13	+ 9%
個人保険	131	99	△ 31	△ 24%
団体保険	42	68	+ 25	+ 61%
TLIS(旧Westpac Life)	-	14	+ 14	-
その他(基礎的項目)	△ 21	△ 16	+ 4	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 115	△ 7	+ 107	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	△ 53	34	+ 88	
VOBAの解放・VIF償却	△ 9	8	+ 18	
優先株配当等	△ 7	△ 5	+ 2	
グループ内再保険(出再)の影響 ⁽³⁾	△ 19	△ 28	△ 8	
その他	△ 24	△ 17	+ 6	
当期純利益(損失)	37	158	+ 120	+ 320%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	30	149	+119	+ 391%
決算為替レート(対円)	80.46	94.17	+13.71	+ 17%

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	33	155	+121	+361%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 正式名称: TAL Life Insurance Services Limited

(2) 22/3期3Qより、全保有契約等のTALへの移転・統合に伴い、旧アステロン・ライフの基礎的収益力を個人保険・団体保険・その他(基礎的項目)に組み替え、過年度の数値を併せて修正しています

(3) グループ資本効率の観点から、豪TALよりグループ会社(DL)へ再保険(出再)を行ったことに伴う損益を記載しています

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 第一生命ベトナム



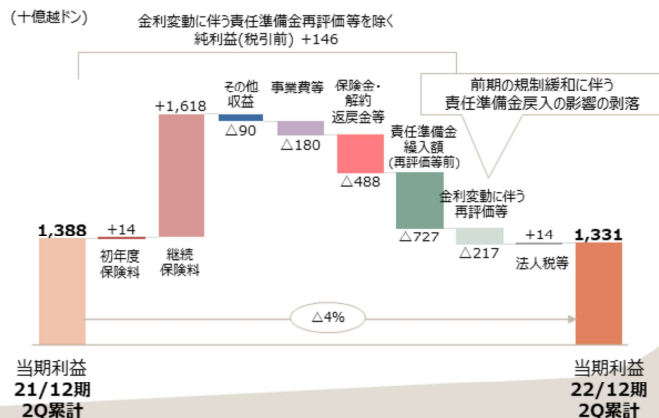
- ▶ 保険料等収入は、初年度保険料がコロナ禍による活動制限の緩和から前年同期比並みに回復したほか、継続保険料も引き続き拡大し、前年同期比+19%増加
- ▶ 当期純利益は、継続保険料が拡大したものの、前期に計上された一部商品の規制緩和に伴う責任準備金戻入の影響剥落により微減の1,331十億越ドン

単体業績

(十億越ドン)	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	8,767	10,401	+ 1,633	+ 19%
初年度保険料	3,306	3,321	+ 14	+ 0%
継続保険料 ⁽¹⁾	5,460	7,079	+ 1,618	+ 30%
その他収益	754	664	△ 90	
資産運用収益等	1,092	900	△ 191	
再保険収支	△ 337	△ 236	+ 101	
事業費等	△ 4,467	△ 4,648	△ 180	
初年度販売手数料・経費等	△ 3,565	△ 3,702	△ 136	
継続手数料・事務管理費	△ 902	△ 946	△ 43	
保険金・解約返戻金等	△ 938	△ 1,427	△ 488	
責任準備金繰入額等	△ 2,379	△ 3,324	△ 945	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 2,707	△ 3,434	△ 727	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	328	110	△ 217	
法人税等	△ 348	△ 334	+ 14	
当期純利益(損失)	1,388	1,331	△ 56	△ 4%
当期純利益(損失) ※円換算後：億円	66	78	+ 11	+ 18%
決算為替レート(対円)	0.0048	0.0059	+ 0.0011	+ 23%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	1,125	1,243	+ 117	+ 10%

(億円)	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	66	78	+11	+18%

当期純利益(損失)の変動要因



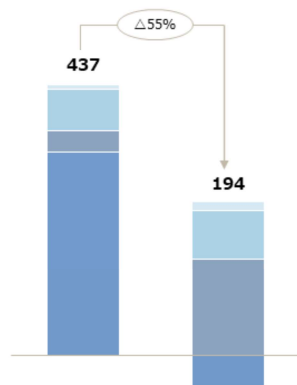
(1) 契約より2年目以降の保険料収入

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業・その他事業(アセットマネジメント事業)

- ▶ 海外保険事業全体の修正利益は、豪TAL・DLVN(ベトナム)・その他子関連会社の増益の一方、米PLCの大幅な悪化により前年同期比△55%減少の194億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、金融市場変動の影響により営業収入が低下したことから、前年同期比△15%減少の24億円

海外保険事業 修正利益合計



(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減(%)
PLC ⁽¹⁾	328	△ 52	-
TAL	33	155	+ 361%
DLVN ⁽¹⁾	66	78	+ 18%
他子関連 ⁽¹⁾	8	13	+ 62%
	437	194	△ 55%

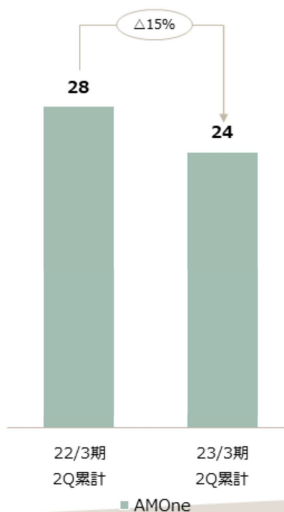
※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・PDL・OLIの5社

22/3期
2Q累計

23/3期
2Q累計

■ PLC ■ TAL
■ DLVN ■ 他子関連

その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減(%)
AMOne	28	24	△ 15%
	28	24	△ 15%

[参考] 預り運用資産(兆円)

AMOne	58	62	+ 6%
-------	----	----	------

※AMOneは当社の持分法適用関連会社

(1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です

グループEEV (European Embedded Value)

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

- ▶ グループEEVは、金融市場変動に伴うDLの減少を、円安効果を含めた海外各社の増加が補い、前期末比△0.9%(△670億円)減少の7兆838億円
- ▶ グループ新契約価値は、DFL商品や海外PLCの販売好調があったものの、DL商品・NFLの販売伸び悩みが影響し、前年同期比△3%(△23億円)減少の685億円 (為替影響を除く前年同期比△12%)

第一生命グループ

	22/3末	22/9末	増減
(億円)			
第一生命グループEEV	71,509	70,838	△ 670
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	72,000	70,171	△ 1,829
修正純資産	60,358	41,851	△ 18,506
保有契約価値	11,642	28,319	+ 16,677
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△ 491	667	+ 1,159

	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
(億円)			
グループ新契約価値 (A)	709	685	△ 23
収入保険料現価 (B)	21,724	28,246	+ 6,521
新契約マージン (A/B)	3.26%	2.43%	△ 0.84%pt

(1) 対象事業(covered business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを提示することを求めています。
第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、英TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業とし、DLReを活用したグループ内再保険は元受会社に含めています。

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(22/3末：12,662億円、22/9末：14,241億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(22/3末：△14,154億円、22/9末：△14,708億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます。

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

グループ各社(国内)のEEV

(億円)				(億円)			
第一生命	22/3末	22/9末	増減	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減	
EEV	49,766	46,566	△ 3,199	362	164	△ 198	
修正純資産	49,441	33,750	△ 15,690	8,447	7,791	△ 656	
保有契約価値	324	12,815	+12,490	4.30%	2.12%	△ 2.18%pt	
第一フロンティア生命	22/3末	22/9末	増減	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減	
EEV	5,855	5,858	+ 2	23	107	+ 84	
修正純資産	3,620	△ 231	△ 3,852	4,806	9,300	+ 4,493	
保有契約価値	2,234	6,089	+3,855	0.48%	1.16%	+ 0.68%pt	
ネオファースト生命	22/3末	22/9末	増減	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減	
EEV	1,904	1,957	+ 53	127	70	△ 57	
修正純資産	128	71	△ 56	1,004	715	△ 289	
保有契約価値	1,775	1,885	+ 110	12.72%	9.85%	△ 2.87%pt	
				新契約価値*	141	89	△ 51
				新契約マージン*	14.04%	12.47%	△ 1.56%pt
				*均等事業費ベース			

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)

グループ各社(海外)のEEV

(億円)

米プロテクトティブ	21/12末	22/6末	増減
EEV	8,819	8,898	+79
修正純資産	4,285	4,311	+25
保有契約価値	4,533	4,587	+54
※為替レート (円/米ドル)	115.02	136.68	

(億円)

豪TAL	22/3末	22/9末	増減
EEV	4,553	5,388	+835
修正純資産	2,409	3,276	+866
保有契約価値	2,143	2,112	△31
※為替レート (円/豪ドル)	92.00	94.17	

(億円)

第一生命ベトナム	21/12末	22/6末	増減
EEV	1,310	1,711	+400
修正純資産	681	883	+202
保有契約価値	629	828	+198
※為替レート (円/越ドン)	0.0050	0.0059	

(億円)

	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	増減
新契約価値	41	224	+182
収入保険料現価	5,824	8,762	+2,938
新契約マージン	0.72%	2.56%	+1.84%pt
※為替レート (円/米ドル)	110.58	136.68	

(億円)

	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
新契約価値	61	29	△32
収入保険料現価	930	903	△27
新契約マージン	6.66%	3.27%	△3.39%pt
※為替レート (円/豪ドル)	80.46	94.17	

(億円)

	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	増減
新契約価値	91	88	△2
収入保険料現価	711	773	+61
新契約マージン	12.86%	11.47%	△1.39%pt
※為替レート (円/越ドン)	0.0048	0.0059	

第一生命グループおよび第一生命のEEV感応度(2022年9月末)



第一生命グループ

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEV・VNBに対する各変化率)

[対象事業のEEV感応度の内訳]

前提条件	EEV感応度	対象事業のEEV	対象事業以外の 純資産等に係る調整	新契約価値	修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	+2,255 +3%	+2,141 +3%	+113 +0%	△ 5 △ 1%	△ 13,184 △ 19%	+15,326 +22%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 3,674 △ 5%	△ 3,556 △ 5%	△ 117 △ 0%	△ 18 △ 3%	+14,620 +21%	△ 18,177 △ 26%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,563 △ 6%	△ 4,381 △ 6%	△ 181 △ 0%	△ 17 △ 3%	△ 4,086 △ 6%	△ 295 △ 0%
第一生命グループのEEV	70,838	70,171	667	685		

第一生命

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEV・VNBに対する各変化率)

[EEV感応度の内訳]

前提条件	EEV感応度	新契約価値	修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	+2,608 +6%	+17 +11%	△ 11,524 △ 25%	+14,132 +30%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 3,982 △ 9%	△ 39 △ 24%	+12,847 +28%	△ 16,829 △ 36%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,178 △ 9%	- -	△ 4,178 △ 9%	- -
第一生命のEEV	46,566	164		

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

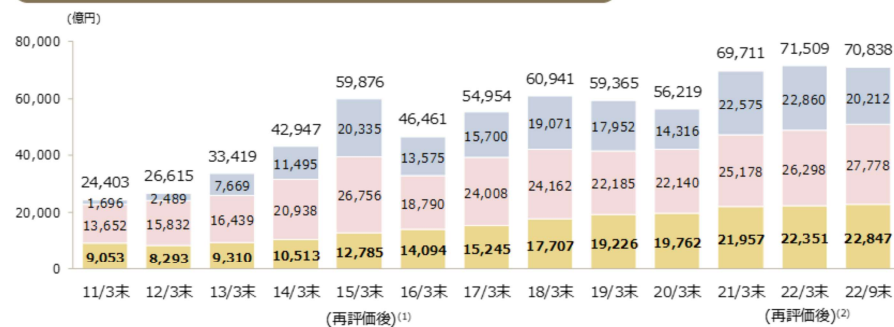
第一生命グループのEEV (億円)

(億円)	22/3末	22/9末	増減
第一生命グループEEV	71,509	70,838	△670
対象事業(covers business)のEEV	72,000	70,171	△1,829
修正純資産	60,358	41,851	△18,506
保有契約価値	11,642	28,319	+16,677
対象事業以外の純資産等に係る調整	△491	667	+1,159

資産・負債の対応を考慮した再分類

(億円)	22/3末	22/9末	増減
第一生命グループEEV	71,509	70,838	△670
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽³⁾	22,860	20,212	△2,647
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾	26,298	27,778	+1,480
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾	22,351	22,847	+496

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等: 保険契約の保有により生じる将来利益
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽³⁾
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾ : 実現利益の累積額に相当

- (1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載
(2) 21/3期より基準変更(円金利の超長期補償のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への社債スプレッドの反映)を実施
(3) DFLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上
(4) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上
本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に即した、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります
(5) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

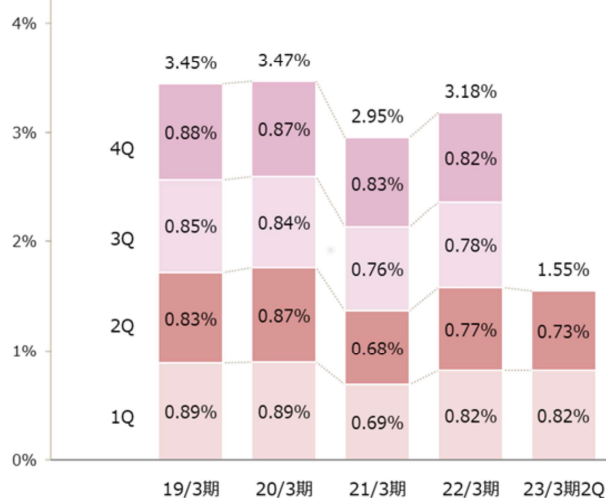
参考データ

[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

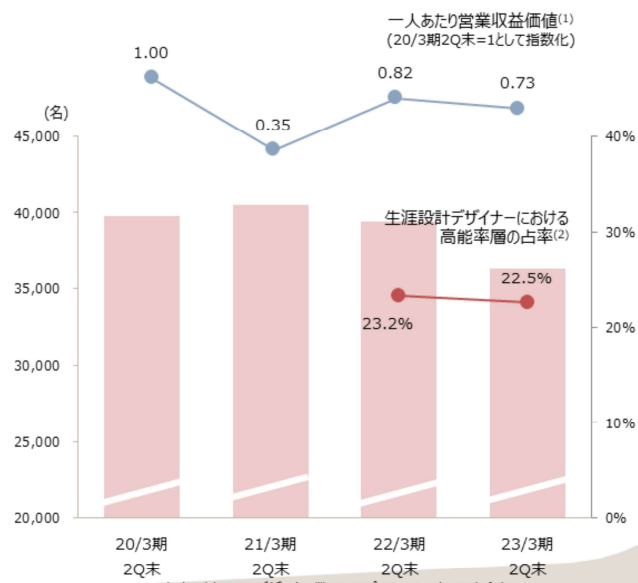
解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

解約失効率

(解約失効年換算保険料/年度始保有契約年換算保険料)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



(1) 各期の営業収益価値(営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除いた新契約価値に相当)を分子、入社初年度を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算

(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合です

[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	4,252	4,227	△ 25	△ 1%
公社債	1,339	1,351	+ 11	+ 1%
株式	369	370	+ 1	+ 0%
外国証券	1,600	1,792	+ 192	+ 12%
その他の証券	360	123	△ 236	△ 66%
買付金	196	195	△ 0	△ 0%
不動産	359	346	△ 13	△ 4%

[参考] 22/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	8,311	350,809	2.37%
公社債	2,694	166,665	1.62%
株式	744	14,056	5.30%
外国証券	3,208	101,445	3.16%
その他の証券	509	8,748	5.82%
買付金	388	25,766	1.51%
不動産 ⁽²⁾	711	7,909	9.00%

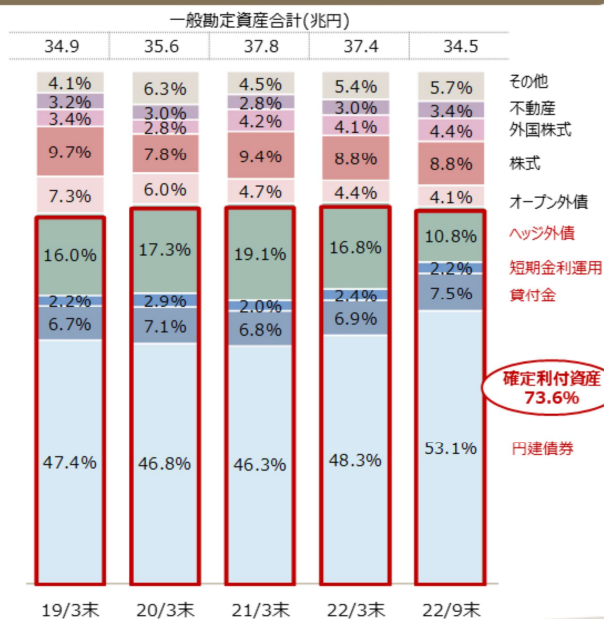
有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	1,674	2,719	+ 1,044	+ 62%
公社債	622	387	△ 235	△ 38%
株式	425	910	+ 485	+ 114%
外国証券	597	1,368	+ 770	+ 129%
その他の証券	29	52	+ 23	+ 82%
有価証券売却損	757	2,135	+ 1,378	+ 182%
公社債	45	150	+ 105	+ 233%
株式	48	26	△ 22	△ 47%
外国証券	485	1,880	+ 1,395	+ 287%
その他の証券	177	78	△ 99	△ 56%
有価証券売却損益	917	584	△ 333	△ 36%
有価証券評価損	21	61	+ 40	+ 185%
公社債	-	-	-	-
株式	20	20	△ 0	△ 1%
外国証券	1	41	+ 40	+ 3,082%
その他の証券	-	-	-	-

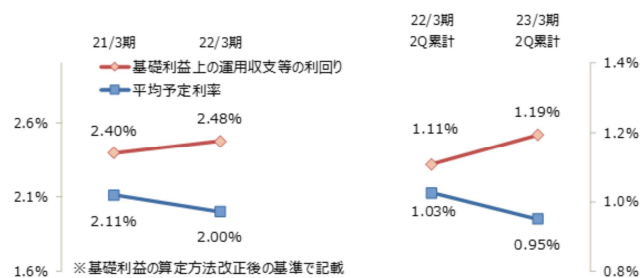
(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算
(2) 投資用不動産

[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

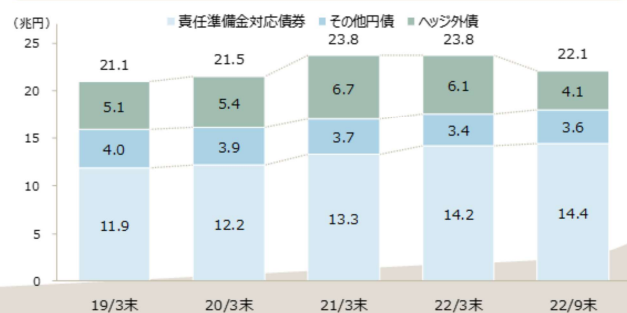
運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾



資産運用利回りと平均予定利率



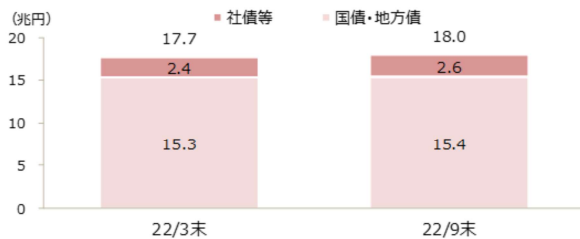
確定利付資産における債券積増し状況⁽²⁾



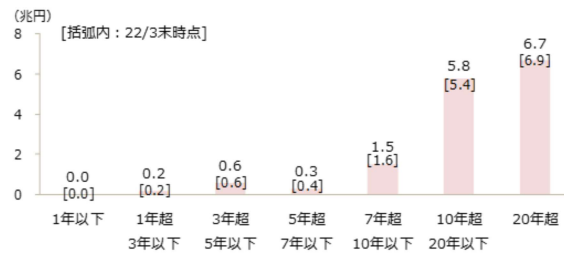
(1) 貸借対照表価額ベース (2) 簿価ベース

[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾

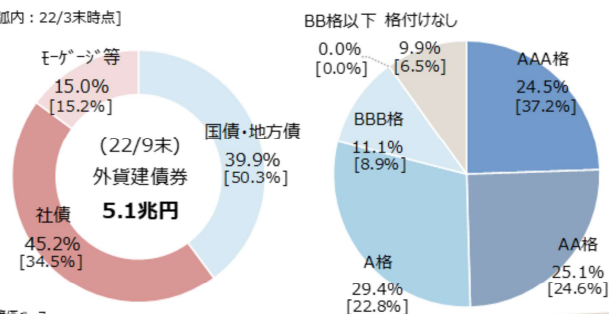


国債の残存期間別残高⁽²⁾ (22/9末)

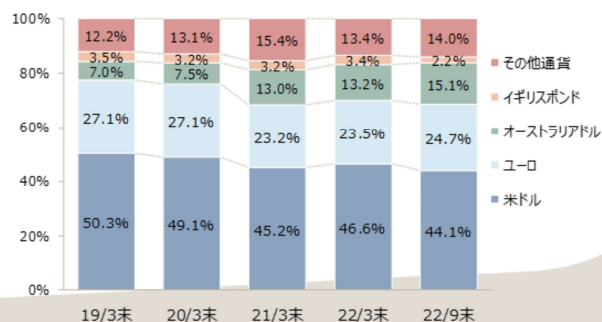


外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (22/9末)

[括弧内：22/3末時点]



外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
 (2) 買値対照表価ベース
 (3) 格付けはS&P・Moodyの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用。モーゲージ等を除く

[第一生命] 健全性指標 – 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

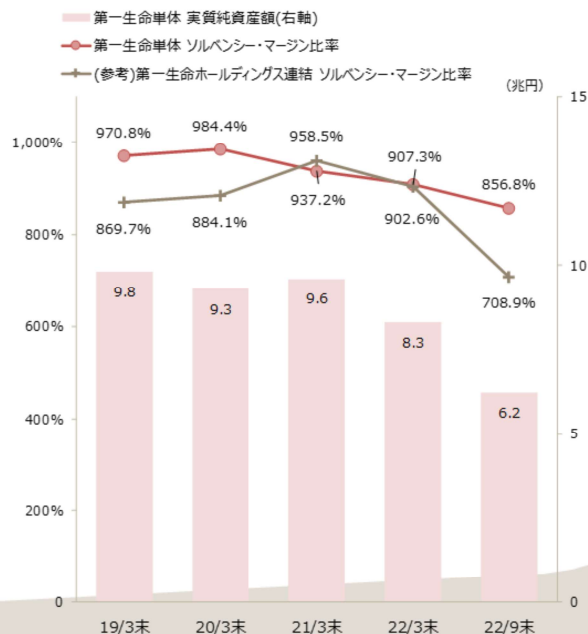
(億円)	22/3末	22/9末	前期末比	(%)
有価証券	44,392	24,132	△ 20,260	△ 46%
国内債券	18,042	7,456	△ 10,586	△ 59%
外国債券	3,787	△ 2,687	△ 6,475	△ 171%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	1,397	△ 3,975	△ 5,373	△ 384%
国内株式	19,619	17,399	△ 2,220	△ 11%
外国株式	2,568	1,809	△ 758	△ 30%
不動産	4,876	4,907	+ 30	+ 1%
一般勘定資産合計	49,133	28,550	△ 20,582	△ 42%

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 2,700億円の増減※ (2022年3月末: 2,900億円) ※その他有価証券区分: 200億円の増減 (2022年3月末: 200億円)	10年国債利回り 0.5%※ (2022年3月末: 0.8%) ※その他有価証券区分: 1.4% (2022年3月末: 1.5%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 1,100億円の増減 (2022年3月末: 1,100億円)	日経平均株価 ¥10,800 (2022年3月末: ¥11,000)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 160億円の増減 (2022年3月末: 210億円)	ドル/円 \$1 = ¥118 (2022年3月末: ¥107)

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

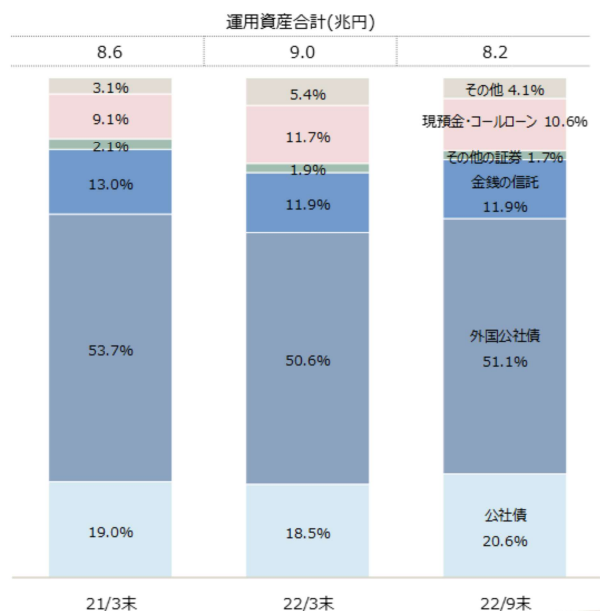


(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロになる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾

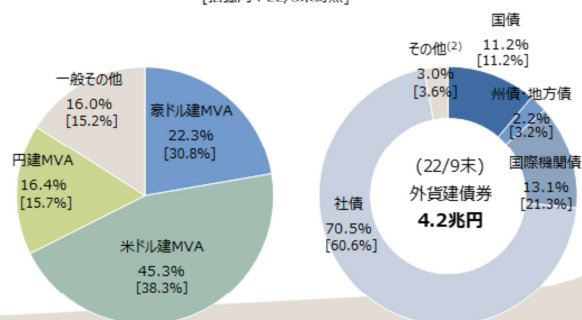


保有目的区分別有価証券の状況 (22/9末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	42,021	38,370	△ 3,651
その他の有価証券	20,094	18,962	△ 1,132
公社債	4,516	4,488	△ 27
外国証券	13,877	12,811	△ 1,066
その他の証券	1,461	1,426	△ 34

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内：22/3末時点]

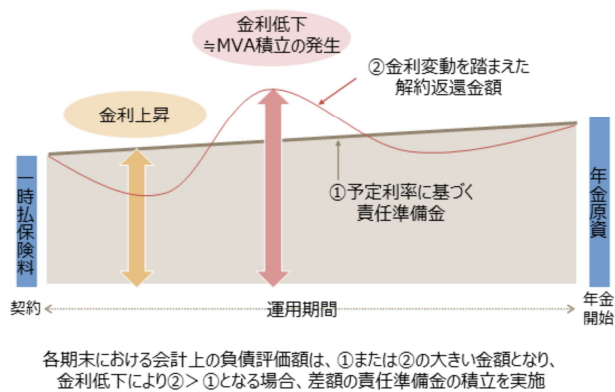


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含みます

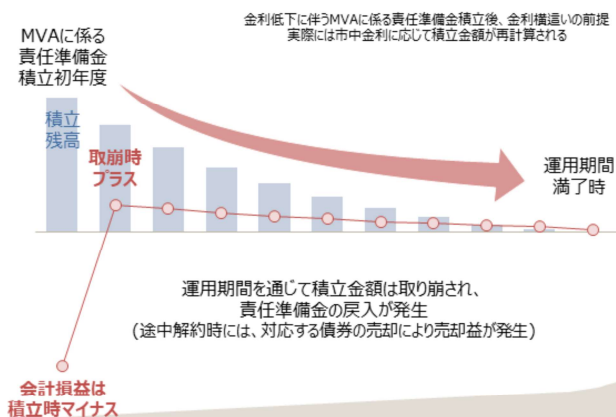
MVA(市場価格調整)関連損益について

- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含まない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[米プロテktiv・豪TAL] 営業の状況 - セグメント別営業業績

米プロテktiv 営業業績

(百万米ドル)	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
リテール保険&年金事業	1,993	2,261	+ 268	+ 13%
伝統的保険	132	109	△ 23	△ 17%
ユニバーサル保険	38	49	+ 11	+ 29%
BOLI/COLI ⁽¹⁾	519	1,353	+ 834	+ 161%
定額年金	809	406	△ 403	△ 50%
変額年金	495	344	△ 151	△ 31%
ステーブルバリュー事業	2,710	3,417	+ 707	+ 26%
アセットプロテクション事業	376	429	+ 53	+ 14%

豪TAL 営業業績⁽²⁾

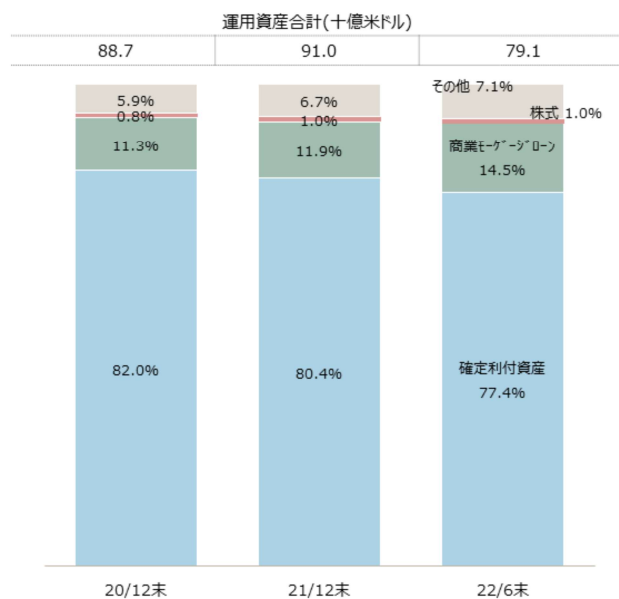
(百万豪ドル)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
新契約年換算保険料	66	52	△ 13	△ 21%
(TAL) 個人保険	43	29	△ 14	△ 33%
団体保険	22	22	△ 0	△ 1%
TLIS (旧Westpac Life)	-	0	+ 0	-
既契約増減	186	239	+ 53	+ 29%
(TAL) 個人保険	136	111	△ 25	△ 19%
団体保険	49	103	+ 53	+ 109%
TLIS (旧Westpac Life)	-	25	+ 25	-

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険です

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) (1)



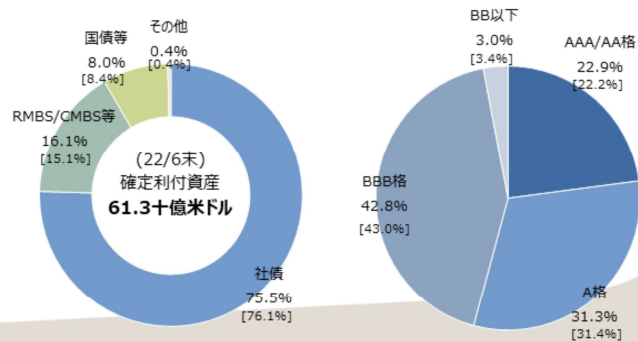
(1) 貸借対照表価額ベース

商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	21/12末	22/6末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	10,966	11,555	+ 589
不良債権	-	-	-
貸倒引当金	103	77	△ 26
(対ローン残高)	0.9%	0.7%	△ 0.27%pt

確定利付資産の内訳および格付構成

[括弧内: 21/12末時点]



グループ修正利益



(億円)		No	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 2Q累計	22/3期	23/3期 2Q累計
国内生命保険事業													
第一生命	当期利益	1	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	1,960	934	1,997	1,119
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過分、税後)	2	249	192	129	129	-	-	216	△216	-	-	-
	調整 (2) 債務変動準備金繰入額 (法定超過分、税後)	3	97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場債務調整) 関連損益 (税後)	4	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0
	調整 (4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	△14	-	-	-	-	-
	調整額合計	6	340	189	125	127	△0	△14	216	△216	△0	△0	△0
	修正利益	7	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502	1,744	934	1,997	1,119
第一フロンティア生命	当期利益	8	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	863	456	1,386	△106
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過分、税後)	9	-	-	-	-	-	-	△300	480	-	15	-
	調整 (2) 債務変動準備金繰入額 (法定超過分、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場債務調整) 関連損益 (税後)	11	△9	469	75	△270	△79	7	1,935	△772	△254	△815	162
	調整 (4) グループ通算割増の導入	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△395	-
	調整額合計	13	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△292	△254	△1,196	162
	修正利益	14	△161	249	318	232	291	207	634	571	201	190	56
ネオファースト生命	当期利益	15	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△34	△68	△42
	調整 グループ通算割増の導入	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△13	-
	修正利益	17	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△34	△81	△42
国内生命保険事業修正利益			18	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	1,101	2,106	1,132
海外保険事業													
Da-ichi Re	修正利益	19	-	-	323	457	349	335	507	374	328	549	△52
	TAL	20	86	121	103	127	105	98	110	152	33	123	155
	第一生命ベトナム	21	10	13	5	5	△20	2	60	59	66	141	78
海外保険事業修正利益			22	108	157	457	615	469	703	602	437	830	194
その他事業			23	-	-	-	-	-	-	-	1	0	△54
その他事業(アセットマネジメント事業)			24	44	61	59	58	53	104	120	99	28	24
連結調整	持株会社・中間持株会社	25	-	-	-	0	3	△35	△44	△40	△1	△20	△11
	調整 (1) 受取配当損益	26	27	36	135	44	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (2) TAL後先株配当	27	-	-	-	-	-	10	8	7	3	7	5
	調整 (3) のれん償却額	28	51	86	63	56	70	82	564	57	32	69	41
	調整 (4) 持分変動益 (第一生命)	29	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-
	調整 (5) 持分変動益 (持株会社)	30	-	-	-	△124	△335	-	-	△349	-	-	-
	調整 (6) 米国法人税減額	31	-	-	-	-	△901	-	-	-	-	-	-
	調整 (7) その他	32	△1	△22	△3	0	39	23	5	△8	1	7	△5
グループ修正利益 (項目33=18+22+23+24+25+26+27)			33	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	1,563	2,961
連結当期純利益 (項目34=33-6-13-16-28-29-30-31-32)			34	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	3,244	1,784	4,093	1,082

[再掲] 基礎利益の算定方法改正の反映について

- ▶ 22/3期において、経済的な実態の反映および保険会社間の取扱いに一貫性を持たせる観点から、基礎利益の算定方法の改正が予定されている
当社グループの通期業績予想の基礎利益は本改正を反映しており、1Qより改正後基準により基礎利益の開示等を行う
- ▶ 前期実績に本改正を反映した場合、基礎利益(順ざや)が△887億円減少するが、経常利益・当期損益、当社グループの実質的な収益力を示す修正利益に変動はない

基礎利益の改正に伴う変動額

[改正前]		改正に伴う変動額(DL単体22/3期実績)		[改正後]	
(億円)	22/3期			22/3期	差異
基礎利益	4,964			4,076	△ 887
うち順ざや	2,195	[順ざやから除外 → キャピタル損益へ計上]			
		①投資信託の解約損益 460 +626		1,307	△ 887
		②有価証券償還損益のうち為替変動部分 166		2,768	-
うち保険関係損益	2,768			1,573	+ 887
キャピタル損益	685	[為替差損益から除外 → 順ざやへ含める]			
		④為替に係るヘッジコスト △260 △260		156	+ 260
うち為替差損益	△ 104				
臨時損益	△ 1,860			△ 1,860	
経常利益	3,789	※経常利益・当期純利益・修正利益は、 変動しない		3,789	
当期純利益	1,997			1,997	
修正利益	1,997			1,997	

③再保険に関する損益の改正は、当社グループは既に改正後の基準を採用しているため、改正の影響はない

改正項目	改正の方向性
① 投資信託の解約損益	基礎利益の算定から除外
② 有価証券償還損益のうち為替変動部分	
③ 再保険に関する損益	基礎利益の算定に含める
④ 為替に係るヘッジコスト	

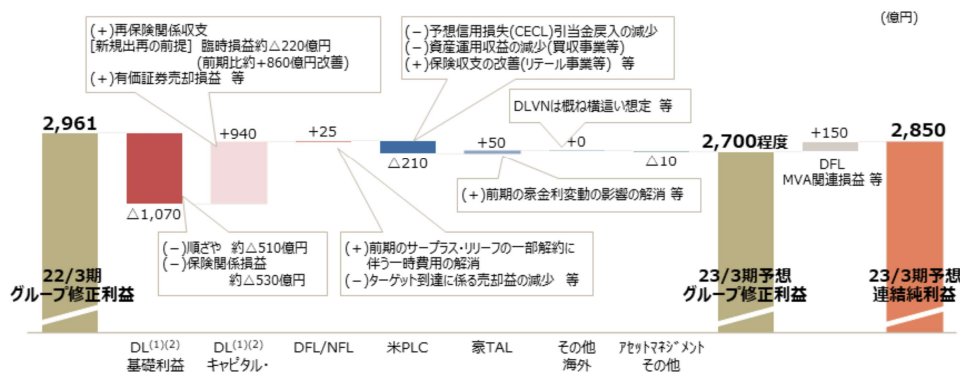
国内生保各社の変動額

(億円)		[改正前]	[改正後]	差異
22/3期	DL	4,964	4,076	△ 887
国内生保	DFL	439	439	△ 0
各社	NFL	△ 79	△ 79	-

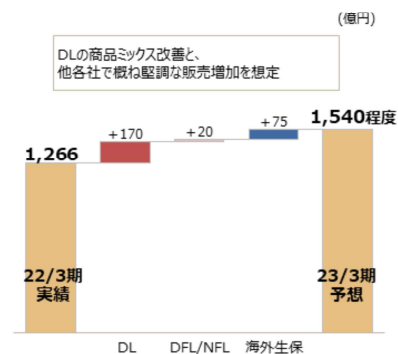
[再掲] 2023年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

- ▶ DLはヘッジコスト上昇や新型コロナの保険金支払等に伴う基礎利益の減少を、再保険関係収支や有価証券売却損益の改善が補う想定
金利動向や前期での出再規模の拡大等を踏まえ、23/3期の新規出再は責任準備金約1,000億円程度を予算上織り込み
- ▶ 米PLCは、コロナに伴う保険金支払状況等に一定の改善を想定するものの、前期の一時的な資産運用収益の反動減が影響
- ▶ グループ新契約価値は、DLの収益寄与の小さい保障見直しの減少等による商品ミックスの改善や他各社の販売増加を想定

グループ修正利益予想・前期比変動要因



グループ新契約価値予想・前期比変動要因



	23/3期 予想	3,000 程度	△1,130	135	340	175	160	15	2,700 程度	+150	2,850
22/3期	4,076		△2,078	108	549	123	158	23	2,961	+1,132	4,093

	860	285	390	1,540 程度
22/3期	686	263	315	1,266

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています
(2) 23/3期予想・22/3期ともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[再掲] 修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

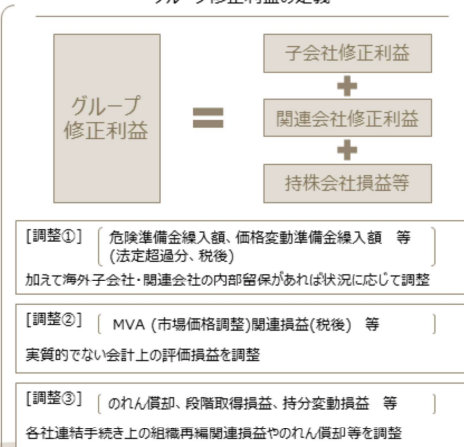
* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
第一フロンティア生命・プロテクト: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.5%	7.6%	9.5%	8.9%	8.0%
分子 (修正利益)	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961
分母 (年度始・年度末平均)	28,565	30,958	28,753	31,723	37,146
分母 (年度末)	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
[分母算出]					
純資産	37,479	37,124	37,758	48,062	44,078
(-) のれん	514	489	394	426	562
(-) 確定利付資産含み損益	6,035	5,956	12,588	12,005	6,287
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	79	228	1,824	1,218	216
修正ROE用純資産	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
うち株主資本	15,896	17,088	16,415	18,936	19,963
第一生命 修正ROE	8.0%	7.6%	7.9%	8.4%	8.2%
分子 (修正利益)	1,698	1,714	1,502	1,744	1,997
分母 (年度始・年度末平均)	21,274	22,436	19,138	20,771	24,505
分母 (年度末)	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
[分母算出]					
純資産	28,882	28,852	25,499	31,902	27,569
(-) 確定利付資産含み損益	5,786	7,075	8,998	6,858	3,602
修正ROE用純資産	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
うち株主資本	6,960	6,841	6,301	6,791	6,315

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益を定義としています

グループ修正利益の定義



株主還元方針

株主還元方針

機動的・柔軟な
追加還元の検討
(21/3期より)

- ・ 総還元性向の目安
中期平均 50%

〔自己株式消却方針〕
用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、
用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、
適切な時期に自己株式の消却を行います

〔総還元性向の
推移イメージ〕

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

〔配当性向の推移イメージ〕

利益に応じた
安定配当
(22/3期より)

〔配当性向〕 毎期 **30%以上**

- ・ グループ修正利益過去3年平均をベース
- ・ 1株あたり配当の減配は原則行わない

追加還元検討における考慮要素

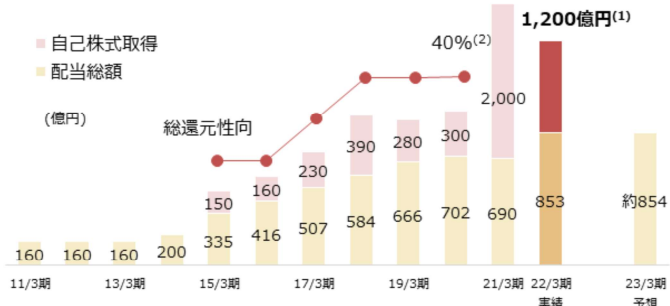
資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況

グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

株主還元の推移



グループ修正利益	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961	2,400
過去3年平均	2,729						

(円/株)

■ 1株あたり配当金⁽³⁾



(1) 2022年5月12日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) DLにおける金融派生商品の一時的な上振れ要因等を控除した実質的なグループ修正利益水準を基に算出 (3) 13/3期以前については株式分割後の換算値

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
経常収益	37,657	56,150	+ 18,492
保険料等収入	24,228	32,694	+ 8,465
資産運用収益	11,180	17,171	+ 5,991
利息・配当金等収入	6,898	7,463	+ 564
有価証券売却益	1,927	2,860	+ 933
金融派生商品収益	-	311	+ 311
為替差益	-	6,353	+ 6,353
特別勘定資産運用益	632	-	△ 632
その他経常収益	2,248	6,284	+ 4,036
経常費用	34,795	53,958	+ 19,162
保険金等支払金	27,420	35,890	+ 8,469
責任準備金等繰入額	41	804	+ 762
資産運用費用	2,185	9,070	+ 6,884
有価証券売却損	764	2,767	+ 2,002
有価証券評価損	16	61	+ 45
金融派生商品費用	428	-	△ 428
為替差損	474	-	△ 474
特別勘定資産運用損	-	956	+ 956
事業費	3,636	3,985	+ 348
経常利益	2,862	2,192	△ 669
特別利益	1	5	+ 4
特別損失	163	244	+ 81
契約者配当準備金繰入額	357	435	+ 78
税金等調整前中間純利益	2,343	1,517	△ 825
法人税等合計	558	435	△ 122
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	1,784	1,082	△ 702

連結貸借対照表

(億円)	22/3末	22/9末	増減
資産の部合計	658,811	638,492	△ 20,318
現金・コール	26,637	25,073	△ 1,564
買入金銭債権	2,559	2,515	△ 43
有価証券	515,047	488,817	△ 26,230
貸付金	39,785	43,383	+ 3,597
有形固定資産	11,597	12,110	+ 513
繰延税金資産	93	3,157	+ 3,063
負債の部合計	614,726	608,969	△ 5,756
保険契約準備金	527,459	546,497	+ 19,037
責任準備金	514,076	532,216	+ 18,140
社債	8,703	9,063	+ 359
その他負債	59,067	38,938	△ 20,128
退職給付に係る負債	3,925	3,909	△ 15
価格変動準備金	2,873	2,986	+ 113
繰延税金負債	2,563	1	△ 2,562
純資産の部合計	44,085	29,522	△ 14,562
株主資本合計	19,963	20,058	+ 95
その他の包括利益累計額合計	24,115	9,459	△ 14,655
その他有価証券評価差額金	23,979	7,524	△ 16,454
土地再評価差額金	166	305	+ 139

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 - 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
経常収益	21,435	20,686	△ 748
保険料等収入	10,983	11,560	+ 576
資産運用収益	6,515	7,187	+ 672
利息・配当金等収入	4,252	4,227	△ 25
有価証券売却益	1,674	2,719	+ 1,044
金融派生商品収益	-	96	+ 96
特別勘定資産運用益	466	-	△ 466
その他経常収益	3,936	1,938	△ 1,998
経常費用	19,636	18,474	△ 1,161
保険金等支払金	14,653	11,564	△ 3,088
責任準備金等繰入額	165	363	+ 197
資産運用費用	1,604	3,415	+ 1,811
有価証券売却損	757	2,135	+ 1,378
有価証券評価損	21	61	+ 40
金融派生商品費用	238	-	△ 238
為替差損	180	122	△ 58
特別勘定資産運用損	-	617	+ 617
事業費	2,032	1,955	△ 76
その他経常費用	1,179	1,174	△ 5
減価償却費	196	203	+ 6
経常利益 (△は損失)	1,799	2,212	+ 413
特別利益	1	5	+ 4
特別損失	134	216	+ 82
契約者配当準備金繰入額	357	435	+ 78
税引前中間純利益 (△は損失)	1,309	1,565	+ 256
法人税等合計	374	446	+ 71
中間純利益 (△は損失)	934	1,119	+ 184

貸借対照表

(億円)	22/3末	22/9末	増減
資産の部合計	386,815	356,296	△ 30,519
現金・預金	9,218	7,605	△ 1,613
買入金銭債権	2,398	2,280	△ 118
有価証券	327,408	296,975	△ 30,432
貸付金	25,691	25,812	+ 120
有形固定資産	11,281	11,757	+ 476
繰延税金資産	-	1,742	+ 1,742
負債の部合計	359,245	337,308	△ 21,937
保険契約準備金	301,317	300,343	△ 973
責任準備金	295,338	294,103	△ 1,234
危険準備金	5,998	5,998	-
社債	3,687	3,687	-
その他負債	43,713	25,492	△ 18,220
退職給付引当金	3,983	3,999	+ 16
価格変動準備金	2,504	2,589	+ 85
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154
純資産の部合計	27,569	18,987	△ 8,582
株主資本合計	6,315	5,297	△ 1,017
評価・換算差額等合計	21,254	13,689	△ 7,564
その他有価証券評価差額金	21,304	13,821	△ 7,482
土地再評価差額金	166	305	+ 139

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
経常収益	8,710	25,155	+ 16,444
保険料等収入	6,279	12,288	+ 6,008
資産運用収益	1,218	7,545	+ 6,327
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	6	+ 6
為替差益	-	6,477	+ 6,477
経常費用	8,144	25,269	+ 17,124
保険金等支払金	7,375	23,212	+ 15,836
責任準備金等繰入額	-	6	+ 6
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	17	49	+ 32
危険準備金繰入額	7	59	+ 52
資産運用費用	485	1,599	+ 1,114
最低保証リスクに対するヘッジ損失	7	-	△ 7
為替差損	296	-	△ 296
事業費	236	377	+ 141
経常利益 (△は損失)	565	△ 114	△ 679
特別利益	-	-	-
特別損失	27	28	+ 0
法人税等合計	81	△ 36	△ 117
中間純利益 (△は損失)	456	△ 106	△ 562
【参考】			
中間純利益 (△は損失)	456	△ 106	△ 562
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益 ⁽¹⁾	205	34	△ 171
その他キャピタル・その他臨時損益	123	133	+ 10
MVA(市場価格調整)関連損益 ⁽²⁾	244	△ 222	△ 467
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 116	△ 51	+ 65

貸借対照表

(億円)	22/3末	22/9末	増減
資産の部合計	99,370	90,321	△ 9,048
現金・預金・コール	10,521	8,793	△ 1,728
有価証券	73,114	68,333	△ 4,781
負債の部合計	96,710	88,919	△ 7,790
保険契約準備金	85,237	79,929	△ 5,308
責任準備金	84,991	79,676	△ 5,314
(MVA残高)	300	47	△ 252
危険準備金	1,141	1,200	+ 59
純資産の部合計	2,660	1,402	△ 1,258
株主資本合計	2,750	2,244	△ 506
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	900	394	△ 506
その他有価証券評価差額金	△ 90	△ 842	△ 752

- (1) 最低保証リスクに関連した損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変動商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む(22/3期2Q: △ 2億円、23/3期2Q: △ 8億円)
- (2) MVA(市場価格調整)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクティブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(百万米ドル)	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	増減
経常収益	7,253	8,861	+ 1,608
保険料等収入	3,110	3,193	+ 83
資産運用収益	2,963	2,058	△ 905
その他経常収益	1,179	3,609	+ 2,430
経常費用	6,891	8,911	+ 2,020
保険金等支払金	3,159	3,260	+ 100
責任準備金等繰入額	2,930	-	△ 2,930
資産運用費用	64	2,995	+ 2,931
事業費	566	576	+ 9
その他経常費用	170	2,079	+ 1,909
経常利益（△は損失）	362	△ 49	△ 411
特別利益	-	-	-
特別損失	0	0	△ 0
法人税等合計	63	△ 11	△ 75
中間純利益（△は損失）	297	△ 38	△ 335

貸借対照表

(百万米ドル)	21/12末	22/6末	増減
資産の部合計	131,895	116,548	△ 15,347
現金	726	603	△ 122
有価証券	90,603	76,948	△ 13,654
貸付金	12,499	13,052	+ 552
有形固定資産	227	223	△ 4
無形固定資産	3,121	4,024	+ 903
のれん	752	985	+ 232
その他の無形固定資産	2,338	3,010	+ 671
再保険貸	15,380	12,149	△ 3,231
負債の部合計	121,569	112,864	△ 8,704
保険契約準備金	110,561	105,042	△ 5,519
再保険借	508	575	+ 67
社債	1,666	1,665	△ 1
その他負債	7,220	5,501	△ 1,719
純資産の部合計	10,326	3,684	△ 6,642
株主資本合計	7,944	7,667	△ 276
その他の包括利益累計額合計	2,381	△ 3,983	△ 6,365

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万豪ドル)	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
経常収益	3,279	4,238	+ 958
保険料等収入	3,112	3,481	+ 368
資産運用収益	116	2	△ 113
その他経常収益	50	753	+ 703
経常費用	3,216	4,036	+ 820
保険金等支払金	2,481	2,488	+ 7
責任準備金等繰入額	141	640	+ 499
資産運用費用	20	287	+ 266
事業費	475	515	+ 40
その他経常費用	98	104	+ 6
経常利益 (△は損失)	63	201	+ 138
特別損益	-	-	-
法人税等合計	25	42	+ 17
中間純利益 (△は損失)	37	158	+ 120
基礎的収益力	152	166	+ 13

貸借対照表

(百万豪ドル)	22/3末	22/9末	増減
資産の部合計	14,041	17,424	+ 3,382
現金	904	1,135	+ 230
有価証券	7,077	8,752	+ 1,675
有形固定資産	30	24	△ 6
無形固定資産	1,039	1,025	△ 13
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	252	238	△ 13
再保険貸	183	303	+ 120
その他資産	4,706	5,544	+ 838
繰延税金資産	99	638	+ 539
負債の部合計	10,708	13,217	+ 2,509
保険契約準備金	8,320	10,404	+ 2,083
再保険債	1,029	1,038	+ 8
社債	-	-	-
その他負債	1,358	1,774	+ 416
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,333	4,206	+ 873
株主資本合計	3,333	4,206	+ 873
資本金	2,130	3,055	+ 925
利益剰余金	1,202	1,151	△ 51

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(十億越ドン)	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	増減
経常収益	10,309	11,789	+ 1,480
保険料等収入	9,224	10,701	+ 1,476
資産運用収益	1,083	1,086	+ 3
その他経常収益	1	1	+ 0
経常費用	8,573	10,125	+ 1,552
保険金等支払金	1,707	1,858	+ 150
責任準備金等繰入額	2,384	3,412	+ 1,027
資産運用費用	0	190	+ 190
事業費	4,438	4,614	+ 176
その他経常費用	42	49	+ 7
経常利益 (△は損失)	1,735	1,663	△ 71
特別利益	2	2	+ 0
特別損失	0	0	△ 0
法人税等合計	348	334	△ 14
中間純利益 (△は損失)	1,388	1,331	△ 56

貸借対照表

(十億越ドン)	21/12末	22/6末	増減
資産の部合計	46,392	50,858	+ 4,466
現金	9,106	10,655	+ 1,549
有価証券	29,860	31,490	+ 1,629
貸付金	977	1,052	+ 75
有形固定資産	114	98	△ 15
無形固定資産	42	48	+ 5
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	32,844	35,979	+ 3,135
保険契約準備金	30,170	33,583	+ 3,412
再保険借	232	4	△ 228
その他負債	2,437	2,388	△ 49
純資産の部合計	13,547	14,879	+ 1,331
株主資本合計	13,547	14,879	+ 1,331

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトティブ			康TAL			第一生命ベトナム			連結		
	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	増減	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減	21/12期 2Q累計	22/12期 2Q累計	増減	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
経常収益	21,435	20,686	△ 748	8,710	25,155	+ 16,444	895	1,101	+ 206	8,020	12,111	+ 4,091	2,638	3,991	+ 1,352	494	695	+ 200	37,657	56,150	+ 18,492
保険料等収入	10,983	11,560	+ 576	6,279	12,288	+ 6,008	893	1,098	+ 205	3,439	4,365	+ 925	2,501	3,278	+ 774	442	631	+ 188	24,228	32,694	+ 8,465
資産運用収益	6,515	7,187	+ 672	1,218	7,545	+ 6,327	2	2	+ 0	3,276	2,812	△ 463	93	2	△ 91	51	64	+ 12	11,180	17,171	+ 5,991
利息・配当金等収入	4,252	4,227	△ 25	835	929	+ 94	1	2	+ 0	1,743	2,230	+ 486	△ 1	2	+ 3	46	64	+ 17	6,888	7,463	+ 564
有価証券売却益	1,674	2,719	+ 1,044	208	134	△ 73	0	-	△ 0	44	8	△ 35	-	-	-	-	-	-	1,927	2,860	+ 933
金融商品売却収益	-	96	+ 96	-	-	-	-	-	-	-	539	+ 539	-	-	-	-	-	-	-	311	+ 311
為替差益	-	-	-	-	6,477	+ 6,477	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0	-	0	+ 0	-	6,353	+ 6,353
特別損失・資産運用損	466	-	△ 466	165	-	△ 165	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	632	-	△ 632
その他経常収益	3,936	1,938	△ 1,998	1,212	5,321	+ 4,108	0	0	△ 0	1,304	4,933	+ 3,629	40	709	+ 669	0	0	+ 0	2,248	6,284	+ 4,036
経常費用	19,636	18,474	△ 1,161	8,144	25,269	+ 17,124	929	1,159	+ 229	7,620	12,179	+ 4,559	2,588	3,801	+ 1,213	411	597	+ 185	34,795	53,958	+ 19,162
保険金等支払金	14,653	11,564	△ 3,088	7,375	23,212	+ 15,836	439	914	+ 474	3,493	4,455	+ 962	1,996	2,343	+ 347	81	109	+ 27	27,420	35,890	+ 8,469
責任準備金等投入額	165	363	+ 197	-	6	+ 6	322	68	△ 253	3,240	-	△ 3,240	113	603	+ 489	114	201	+ 86	41	804	+ 762
資産運用費用	1,604	3,415	+ 1,811	485	1,599	+ 1,114	0	0	+ 0	71	4,094	+ 4,023	16	270	+ 253	0	11	+ 11	2,185	9,070	+ 6,884
有価証券売却損	757	2,135	+ 1,378	6	909	+ 902	-	-	-	1	8	+ 7	-	-	-	-	-	-	764	2,767	+ 2,002
金融商品売却損	21	61	+ 40	-	-	-	-	-	-	△ 5	△ 8	+ 4	-	-	-	-	-	-	16	61	+ 45
金融商品売却費用	238	-	△ 238	178	325	+ 146	-	-	-	10	-	△ 10	-	-	-	-	-	-	428	-	△ 428
為替差損	180	122	△ 58	296	-	△ 296	-	-	-	0	0	△ 0	-	0	+ 0	0	-	△ 0	474	-	△ 474
特別損失・資産運用損	-	617	+ 617	-	338	+ 338	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	956	+ 956
事業費	2,032	1,955	△ 76	236	377	+ 141	160	163	+ 2	626	767	+ 160	382	485	+ 103	213	272	+ 59	3,636	3,985	+ 348
経常利益 (△は損失)	1,799	2,212	+ 413	565	△ 114	△ 679	△ 34	△ 57	△ 23	400	△ 68	△ 468	50	189	+ 138	83	98	+ 14	2,862	2,192	△ 669
特別損失	1	5	+ 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	+ 0	1	5	+ 4
特別損失	134	216	+ 82	27	28	+ 0	0	0	△ 0	0	0	△ 0	-	-	-	0	0	△ 0	163	244	+ 81
契約者配当準備金繰入額	357	435	+ 78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	357	435	+ 78
税金等調整前当期純利益	1,309	1,565	+ 256	537	△ 142	△ 679	△ 34	△ 57	△ 22	399	△ 68	△ 467	50	189	+ 138	83	98	+ 14	2,343	1,517	△ 825
法人税等合計	374	446	+ 71	81	△ 36	△ 117	0	△ 14	△ 14	70	△ 16	△ 86	20	40	+ 19	16	19	+ 2	558	435	△ 122
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間純利益 (△は損失)	934	1,119	+ 184	456	△ 106	△ 562	△ 34	△ 42	△ 7	328	△ 52	△ 381	30	149	+ 119	66	78	+ 11	1,784	1,082	△ 702

主要子会社別貸借対照表(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米フロテクティブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	22/3末	22/9末	増減	22/3末	22/9末	増減	22/3末	22/9末	増減	21/12末	22/6末	増減	22/3末	22/9末	増減	21/12末	22/6末	増減	22/3末	22/9末	増減
資産の部合計	386,815	356,296	△ 30,519	99,370	90,321	△ 9,048	4,151	4,165	+ 13	151,706	159,299	+ 7,592	12,918	16,408	+ 3,490	2,319	3,000	+ 681	658,811	638,492	△ 20,318
現金・預金	9,218	7,605	△ 1,613	10,521	8,793	△ 1,728	2,692	2,549	△ 143	835	825	△ 10	832	1,068	+ 236	455	628	+ 173	26,637	25,073	△ 1,564
貸入金・貸付金	2,308	2,280	△ 118	160	235	+ 75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,559	2,515	△ 43
有価証券	327,408	296,975	△ 30,432	73,114	68,333	△ 4,781	823	929	+ 106	104,211	105,173	+ 961	6,511	8,242	+ 1,731	1,493	1,857	+ 364	515,047	488,817	△ 26,230
貸付金	25,691	25,812	+ 120	-	-	-	17	16	△ 1	14,277	17,840	+ 3,563	12	14	+ 1	48	62	+ 13	39,785	43,383	+ 3,597
有形固定資産	11,281	11,757	+ 476	13	12	△ 0	3	3	△ 0	261	304	+ 43	28	22	△ 5	5	5	+ 0	11,597	12,110	+ 513
無形固定資産	1,285	1,302	+ 16	154	161	+ 7	63	80	+ 17	3,590	5,501	+ 1,910	956	965	+ 9	2	2	+ 0	5,027	6,832	+ 1,804
繰延税金資産	-	1,742	+ 1,742	426	704	+ 277	13	15	+ 2	-	135	+ 135	91	601	+ 509	3	3	△ 0	93	3,157	+ 3,063
負債の部合計	359,245	337,308	△ 21,937	96,710	88,919	△ 7,790	4,030	4,087	+ 56	139,829	154,263	+ 14,434	9,649	12,239	+ 2,590	1,642	2,122	+ 480	614,726	608,969	△ 5,756
保険契約準備金	301,317	300,343	△ 973	85,237	79,929	△ 5,308	3,961	4,030	+ 68	127,167	143,571	+ 16,404	7,655	9,798	+ 2,143	1,508	1,981	+ 472	527,459	546,497	+ 19,037
役員報酬金	295,338	291,103	△ 4,234	84,991	79,676	△ 5,314	3,928	3,998	+ 70	125,902	142,247	+ 16,345	1,840	3,455	+ 1,614	1,462	1,921	+ 459	514,076	532,216	+ 18,140
社債	3,687	3,687	-	-	-	-	-	-	-	1,916	2,276	+ 359	-	-	-	-	-	-	8,703	9,063	+ 359
その他負債	43,713	25,492	△ 18,220	4,734	3,469	△ 1,265	64	53	△ 11	8,305	7,519	△ 785	1,047	1,464	+ 416	121	140	+ 19	59,067	38,938	△ 20,128
退職給付に係る負債	3,983	3,999	+ 16	-	-	-	-	-	-	94	109	+ 14	-	-	-	0	0	+ 0	3,925	3,909	△ 15
繰延税金負債	2,504	2,589	+ 85	368	396	+ 28	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,873	2,986	+ 113
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154	-	-	-	-	-	-	1,760	-	△ 1,760	-	-	-	-	-	-	2,563	1	△ 2,562
純資産の部合計	27,569	18,987	△ 8,582	2,660	1,402	△ 1,258	121	77	△ 43	11,877	5,035	△ 6,841	3,268	4,168	+ 899	677	877	+ 200	44,085	29,522	△ 14,562
株主資本合計	6,315	5,297	△ 1,017	2,750	2,244	△ 506	122	79	△ 42	9,265	8,929	△ 336	3,062	3,769	+ 707	679	757	+ 78	19,963	20,058	+ 95
その他の包括利益累計額合計	21,254	13,689	△ 7,564	△ 90	△ 842	△ 752	△ 1	△ 1	△ 0	2,612	△ 3,893	△ 6,505	206	399	+ 192	△ 1	120	+ 121	24,115	9,459	△ 14,655
その他利益剰余金	21,304	13,821	△ 7,482	△ 90	△ 842	△ 752	△ 1	△ 1	△ 0	2,775	△ 5,409	△ 8,184	-	-	-	-	-	-	23,979	7,524	△ 16,454
土地取得準備金	166	305	+ 139	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166	305	+ 139

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	22/3末	22/9末	増減
ソルベンシー・マージン総額 (A)	83,444	63,594	△ 19,849
資本金等 ⁽¹⁾	15,613	14,779	△ 834
価格変動準備金	2,873	2,986	+ 113
危険準備金	7,159	7,219	+ 59
一般貸倒引当金	2	10	+ 7
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)+繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	29,463	9,838	△ 19,625
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	3,617	3,635	+ 17
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	119	161	+ 41
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,508	22,757	+ 248
負債性資本調達手段等	10,037	10,037	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△5,825	△6,058	△ 232
少額短期保険業者に係るマージン控除額	0	0	-
控除項目	△2,786	△2,743	+ 43
その他	659	971	+ 311
リスクの合計額 (B) $\sqrt{\{ (\sqrt{R_1^2 + R_2^2} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2 \}} + R_8 + R_9$	18,487	17,941	△ 546
保険リスク相当額 R_1	1,495	1,680	+ 184
一般保険リスク相当額 R_5	41	49	+ 7
巨大災害リスク相当額 R_6	15	19	+ 3
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	1,854	1,899	+ 45
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	0	0	-
予定利率リスク相当額 R_2	2,099	2,046	△ 52
最低保証リスク相当額 $R_7^{(2)}$	761	787	+ 25
資産運用リスク相当額 R_3	14,873	14,302	△ 571
経営管理リスク相当額 R_4	422	415	△ 7
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	902.6%	708.9%	△193.7%pt

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く
(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。